

海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金			
			[福井経済新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
本県眼鏡企業の世界規模の海外眼鏡展示会への出展の際の積極的なセールスを支援し、福井県産眼鏡の販路拡大を図る。											
[事業内容]											
世界中のバイヤーが一堂に会する海外（欧州および中国など）での国際眼鏡展示会への出展の際に、本県眼鏡企業が海外営業のノウハウを身につけ、継続的な商談・成約に結びつけるために会期前～会期中～会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。											
事業主体	(一社)福井県眼鏡協会										
補助率	1 / 2										
予算要求額	500千円（一般） [補助金]										
事業期間	平成26年度～										
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			908	900	500	500	500	海外営業サポート事業の補助金額の見直し			
2月現計予算額の推移			908	900							
決算額の推移			503								
[成果指標等の推移]											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	成約件数 (目標)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	10社×10			
		実績		105	63						
活動指標	営業サポート件数 (目標)		(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	15社			
		実績		13	14						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		(一社)福井県眼鏡協会			
予算額	500				500	事業実施方法		補助			
						補助率		1/2			

事業評価

事業名	海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>海外で福井の眼鏡の販売拡大を目指すためには、海外市場の流行・消費者ニーズ等を的確に掴み、売れる商品づくりに反映させるとともに、福井県産眼鏡の優れた点を直接、海外市場の販売代理店、小売店に認識してもらい、実際に取扱ってもらう必要がある。</p> <p>円安やアジアなど海外での県産眼鏡の評価が高まっていることもあり、人口減少により限界のある国内市場から、大きな需要の見込まれる海外市場への進出、新たな販路づくりを支援する。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内眼鏡関連企業				県内眼鏡製業 557事業所				
他県の状況	—	前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績)	平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		事業名 (役割分担)				鯖江市も一定額を支援し、海外販路開拓を後押ししている。
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価				
香港眼鏡展において、平成26年度は出展企業13社、平成27年度は14社に対する展示会前・中・後の営業サポートを支援した。		海外営業サポート事業の補助金額の見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 400千円	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「サバエメガネメッセ」開催支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸																																											
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度																																											
関連する県の計画等		政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金																																															
		[福井経済新戦略]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他																																															
<p>[事業目的]</p> <p>産地生誕110周年記念事業として、約20年振りに眼鏡産地福井で行う展示会の開催を支援することにより、眼鏡産地の歴史や技術力・デザインカの他、医療・ウェアラブルといった産地の新たな取組みを国内外に発信し、眼鏡産地のブランド力向上を図る。</p>																																																						
<p>[事業内容]</p> <p>産地の総合展示会「サバエメガネメッセ」開催支援 【会 期】平成28年5月27日（金）～5月29日（日） 【主な内容】 ・完成品のみならず産地の部品・加工・材料企業の出展による眼鏡の総合展示会 ・眼鏡関連企業による医療、ウェアラブル分野製品・技術の展示 ・開会式典、基調講演、各種眼鏡関連セミナー、イベント ・眼鏡デザインコンペティション ・ファクトリーツアーリズム（工場見学） 【場 所】鯖江市嚮陽会館、サバエシティーホテル、めがね会館 【出展社】眼鏡関連企業200社以上 【総合プロデューサー】北川 一成 氏（アートディレクター、グラフィックデザイナー） 【目標】① 参加者 2万人 ② オリンピック開催年（平成32年）に国際眼鏡展示会の福井開催</p>																																																						
<p>[予算額の推移等] （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移					5,000				2月現計予算額の推移									決算額の推移															
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																														
当初予算額の推移					5,000																																																	
2月現計予算額の推移																																																						
決算額の推移																																																						
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 10%;">24年度</th> <th style="width: 10%;">25年度</th> <th style="width: 10%;">26年度</th> <th style="width: 10%;">27年度</th> <th style="width: 10%;">28年度</th> <th style="width: 10%;">29年度</th> <th style="width: 10%;">30年度</th> <th style="width: 30%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標 来場者数 (目標)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(20,000)</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">北陸技術交流テクノフェアと同程度を目指す</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標 出展企業数 (目標)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(200)</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">眼鏡協会加盟218社のうち、9割程度を目指す</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標 来場者数 (目標)					(20,000)			北陸技術交流テクノフェアと同程度を目指す									活動指標 出展企業数 (目標)					(200)			眼鏡協会加盟218社のうち、9割程度を目指す								
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																														
成果指標 来場者数 (目標)					(20,000)			北陸技術交流テクノフェアと同程度を目指す																																														
活動指標 出展企業数 (目標)					(200)			眼鏡協会加盟218社のうち、9割程度を目指す																																														
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">(一社) 福井県眼鏡協会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td>事業実施方法</td> <td>補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>1/4</td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	(一社) 福井県眼鏡協会	予算額	5,000				5,000	事業実施方法	補助							補助率	1/4																			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	(一社) 福井県眼鏡協会																																															
予算額	5,000				5,000	事業実施方法	補助																																															
						補助率	1/4																																															

事業評価

事業名	「サバエメガネメッセ」開催支援事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>眼鏡産地の認知度が向上したことを契機に、若手経営者グループが策定したブランド確立に向けたアクションプラン（産地生誕110周年に産地で展示会を開催、更にオリンピック開催の平成32年には国際展示会を開催）を基とした、眼鏡産地生誕110周年を迎えた記念事業を行い、産地の更なるブランド力の向上を図る。 【参考】「めがねミュージアム」の来場者数 (H22)38,402人 ⇒ (H26)117,465人</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内眼鏡関連企業				557事業所				
他県の状況	他産地で次のようなイベントが開催されている。 ・バーゼル（スイス） 「バーゼルフエア」 ・燕三条（新潟県） 「工場の祭典」 ・静岡市（静岡県） 「静岡ホビーショー」			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	鯖江市も一定額を支援する予定。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

越前焼技能者養成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H13 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度	H29 年度
		政 策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[福井経済新戦略]					<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
<p>日本六古窯の一つであり、約9百年の歴史のある越前焼については、前年度より伝統工芸職人塾を開設し、後継者の確保育成に取り組んでいるが、産地規模が小規模な越前焼産地が他産地との競争に打ち勝つためには、より高度な技術の習得が必要であることから、外部講師等による講義・実習を通じ、デザイン力や技術力の向上を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>若手越前焼作家に対して、越前焼の伝統技法を地元窯元が技術指導するとともに、デザイナーや陶磁器専門店店長、他産地からの講師を招くなど、より優れた製陶技術者を育成するための講義、実習を行う。</p> <p>実施主体：越前焼技能者養成支援委員会 対象者：若手越前焼作家（基礎技能習得者） 実施場所：工業技術センター（窯業指導分所） 事業内容：1. デザイン研修：年4回 2. 陶磁器専門店店長等による研修：年4回 3. 他産地講師による特別研修：年15回</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,500	1,500	1,500	1,000	1,000	1,000					
2月現計予算額の推移		1,500	1,500	1,500	1,000							
決算額の推移		1,481	1,500	1,500								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加者数	(目標) (45)	(45)	(45)	(45)	(45)	(45)		基礎技能習得した若手作家45人を対象			
		実績 47	42	41	38							
活動指標	講座開催数	(目標) (200)	(200)	(123)	(123)	(123)	(123)		320分/日×23日÷60分（1講座あたり60分程度）			
		実績 238	222	123	130							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	越前焼技能者養成支援委員会					
予算額	1,000				1,000	事業実施方法	補助					
						補助率	県1/2、市町1/2					

事業評価

事業名	越前焼技能者養成支援事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
越前焼は産地規模が零細で後継者不足という問題点を抱えており、産地間競争の激化に対応するためには、より高度な技術を短期間に修得することが必要不可欠となっている。このため、地元町が主体となって取り組む研修強化事業を補助することにより、越前焼の伝統的技法の継承と後継者の育成を図る。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
若手越前焼作家				45人				
他県の状況	石川県 事業名：石川県伝統工芸専門技術者奨励金 対象：実務経験が3年以上5年未満の技術者15名 予算額：1人あたり年15万円 富山県 事業名：富山県伝統工芸品産業支援事業費補助金 対象：伝統的工芸品を製造または取扱う事業者を構成員とする事業協同組合、伝統的工芸品産業振興を目的に設立された公益法人等 予算額：販路開拓事業 補助率1/2以内、上限額300万円 人材育成事業 補助率1/2以内、上限額200万円	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 伝統工芸職人塾 (役割分担) 実施主体：越前ものづくりの里プロジェクト協議会 対象者：伝統工芸に興味を持つ若者(未経験者) 事業内容：越前焼工業協同組合による指導 ・原料やうわ薬の調整技術 ・成型技術(ろくろ) ・焼成技術 等	市町との連携状況	越前町が1/2補助しており、県と越前町で共同で実施					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> 1. 学科 日本陶芸と越前焼について 担当：森孝一氏、竹中浩氏 デザイン講習 担当：藤田仁氏 百貨店における作品・商品の考え方について 担当：佐藤和彦 2. 実技 成形、加飾技術講習会 地元窯元による研修 越前固有の伝統技術の習得 他 計130講座を開催					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

伝統的工芸品の担い手づくり支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金			
[福井経済新戦略]											
[事業目的]											
<p>新商品開発、販路拡大への積極的な取組みへの支援はもとより、伝統的工芸品産業を後世に伝承していくため、中長期的な「人づくり」の観点から、各年代層に向けて実際に伝統工芸と触れ合う体験機会を設ける。</p>											
[事業内容]											
<p>将来職人を目指したいという気持ちを育むため、小中学生や高校生に対し、幅広く産地の優れた伝統工芸品や職人の技に接する機会を設ける。</p> <p>①ふれあい体験事業 学校や産地体験施設において、職人から伝統工芸について学んだり、紙すきや箸研ぎなどの体験実習を実施 ・実施主体：伝統的工芸品の産地組合等6団体（越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筒、若狭工房）</p> <p>②高校生実習支援事業 高校生を対象に、伝統工芸士による出前授業や、電動ろくろを使った越前焼の制作・越前打刃物の鍛造など産地での本格的な制作活動の指導等を実施 ・実施主体：伝統工芸士会連合会</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		4,239	4,239	3,000	3,000	3,000					
2月現計予算額の推移		4,239	4,239	3,000	3,000						
決算額の推移		3,165	3,039	2,160							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	ふれあい体験・高校生向け実習参加者数(人)	(目標) 1,500	(1,500)	(1,500)	(1,300)	(1,300)			学校での体験教室 30名×30回=900名 イベントでの体験教室 80名×5回=400名		
		実績 1,717	1,552	1,225							
活動指標	ふれあい体験会・高校生向け実習開催数	(目標) (50)	(50)	(50)	(35)	(35)			各組合での体験会開催回数の合計		
		実績 53	48	36							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		産地組合、伝統工芸士連合会			
予算額	3,000				3,000	事業実施方法		補助			
						補助率		定額			

事業評価

事業名	伝統的工芸品の担い手づくり支援事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>伝統的工芸品産業の担い手となる職人は減少傾向にある。特に若い職人が減少しており、この傾向に歯止めをかけるために、小中学生などの若い世代に対して、伝統的工芸品の製造過程を体験する場を設け、将来の担い手確保につなげる必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内の小中学生、高校生				1,300名程度				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	組合が小学校を対象に事業を行う際、市町の教育委員会に日程調整等の協力を依頼している。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<26年度> 体験会の実施数、参加者数ともに減少したが、将来職人を目指したいという気持ちを育むには、実際に伝統工芸士と触れ合う体験機会を設けることが効果的であるため、27年度からは高校生向け実習を支援対象に追加した。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

伝統的工芸品発信力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H24 年度	事業終了予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井経済新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		5 年			
[事業目的]												
<p>本県の伝統的工芸品産地の活性化を図るため、販路開拓や新商品の開発、イベントを活用した食との連携により、本県伝統的工芸品の魅力を県内外へ強力に発信する。特に越前焼については、生産額の減少も大きく、日本六古窯の中でも生産規模が特に小さいことから、産地のより一層の活性化に向け、技術向上を支援する。</p>												
[事業内容]												
<p>①東京ギフトショーへの福井県ブースの出展 日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市である東京ギフトショーへ福井県ブースを出展し、本県の伝統的工芸品や地場産業の新たな用途展開の可能性を世界のバイヤーに示し、本県の伝統的工芸品を含む地場産業の新たな魅力を発信および産地の底上げを図る。</p> <p>②越前焼技能者の技術向上支援 日展などの著名な展示会への入選を目指す越前焼の若手技能者を支援し、越前焼の工芸品としての完成度、優美さを広め、産地のブランド力の向上を目指す。</p> <p>③食との連携による伝統的工芸品の情報発信 「食育王選手権」や「技能選手権」にて越前焼や越前漆器などの器を提供し、本県の優れた伝統的工芸品を実際に使用してもらうことにより、認知度の向上につなげる。</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		11,471	10,558	16,740	10,966	9,179	8,143		大手百貨店との連携事業にかかる経費の減 越前焼技能者への支援数の減			
2月現計予算額の推移		11,471	10,558	16,740	10,221							
決算額の推移		9,274	8,305	13,200								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(ギフトショー) 商談件数 (目標)		(100)	(150)	(130)	(130)	(130)		1社あたり10件程度			
	実績		123	290	116							
活動指標	ギフトショー出展者数 (目標)		(10)	(15)	(13)	(13)	(13)		10小間というスペースを考慮して算出			
	実績		10	17	13							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、越前焼作家				
予算額	9,179			(諸収入) 650	8,529	事業実施方法		①③直営②補助				
						補助率		定額 (1人250千円)				

事業評価

事業名	伝統的工芸品発信力強化事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県の伝統的工芸品産業は小規模事業者が多く、単独で県内外にPRするだけの力がない場合が多い。県が県内企業の見本市への出展や、越前焼作家の陶芸展への出展を後押しすることで伝統的工芸品の発信力を強化する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
伝統工芸品産業関連事業者				約1,600人			
他県の状況	—	前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	事業名 (役割分担)		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 東京ギフトショーの出展事業は、限られた小間スペースを有効に活用するために、小間割りの見直しを行った。そのため出展企業数、商談件数は減少したが、継続的に福井県ブースを出展しているため、来場者からの認知度も高く、多くのバイヤーが訪れた。		大手百貨店との連携事業にかかる経費の減、越前焼技能者への支援数の減		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,656千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

越前ものづくりの里プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
<p>本県の伝統工芸（越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筥）の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、伝統的工芸品の知名度向上と需要拡大を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>①伝統工芸職人塾の開設 ・工芸分野に携わりたいと考える若者等が、高い技能に加え、魅力ある商品づくりのためのデザインや経営的な視点を学ぶことができる「職人塾」を開設 ・本格的に産地での就労を志す研修生に対し、生活費を支援（研修手当支給、家賃補助）</p> <p>②伝統工芸産地連携事業 ・産地連携による地域ブランド力を向上するため、「見せる」「売る」「広げる」の3つの戦略で展開</p> <p>③実施主体 「越前ものづくりの里プロジェクト協議会」 ・プロジェクトを効果的に企画・実施していくため、コーディネートできる外部専門家を配置</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				21,293	24,581	28,237	28,237	28,237	伝統工芸職人塾生の増加			
2月現計予算額の推移				18,735	24,581							
決算額の推移				16,926								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	伝統工芸職人塾 長期塾 (目標)			(10)	(19)	(32)	(42)	(52)	毎年10名程度採用 (延べ人数、累計)			
	生人数 実績			9	22							
活動指標	伝統工芸職人塾 座学開 (目標)			(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	H26 10/2開塾 週1回 H27 4/14開塾 月2回			
	催 実績			24	24							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会				
予算額	28,237				28,237	事業実施方法		上記委員会で協議の上決定				
						補助率		県1/2、市町1/2（負担金）				

事業評価

事業名	越前ものづくりの里プロジェクト	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>丹南地域は半径10km圏内に伝統的工芸品産地が5か所もある、全国でも珍しい地域であるが、これまではその特性を十分に発揮できず、産地間の連携が取れていなかった。不足する後継者の育成、産地振興等を「越前ものづくりの里プロジェクト」として、行政・各産地等が連携して取り組み、本県の伝統産業の振興を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
伝統工芸品産業関連事業者				約1,600人			
他県の状況	○各地の伝統工芸後継者育成事業 ・静岡市〔クラフトマンサポート事業〕 月10万円 最長2年間支援 ・東京都荒川区〔荒川の匠育成事業〕 月14万円 最長3年間支援 ・鳥取県〔ふるさと産業支援事業〕 月17万円 最長2年間支援 (経費は県と市町村が折半)	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	事業名 (役割分担)				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 県・市町・産地等が一体となりリクルーティングした結果、13名の方が職人塾(長期)に入塾した。また、産地が連携してツーリズムEXPOジャパンに出展し3日間で533名が本県の伝統工芸品の製造等を体験した。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

和膳による学校給食推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
和食文化を守り育てる取り組みの一環として、漆器や塗箸など伝統的工芸品等の学校給食での使用を進めるため、県内小中学校における導入経費を支援する。												
[事業内容]												
①市町が学校給食用食器等に伝統的工芸品等の導入を希望する場合、通常販売価格の2割を県で補助 ※産地も2割を負担、産地を抱える市町(鯖江市)も1割負担												
②県内全市町の新小学校1年生に塗り箸を配布												
費目	予算額(千円)	内 訳								備考		
消耗品	6,244	越前塗箸、若狭塗箸@1,080円(税込)×8割×7,226人=6,243,264円								H27年度実績+転入による増見込み 越前塗箸、若狭塗箸どちらか1膳を選択		
補助金	1,815	越前漆器食器 @6,480円×2割×1400セット=1,814,400円								H28更新予定市町 勝山市、鯖江市、越前市、越前町		
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移			14,091	9,197	8,059			給食食器の更新を予定している学校数の減により前年度から予算額は縮小				
2月現計予算額の推移			14,091	6,692								
決算額の推移			6,737									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	給食用食器の更新年度を迎える市町 (目標)			(4)	(4)			市町へのアンケート結果				
	実績		1	1								
活動指標	県内の小学校1年生全員に塗り箸を配布 (目標)			(7,273)	(7,226)			県内新小学1年生人数(前年度実績+転入による増見込み)				
	実績		7,273	7,215								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		①市町②県				
予算額	8,059				8,059	事業実施方法		①補助②直営				
						補助率		1/5				

事業評価

事業名	和膳による学校給食推進事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成25年12月に「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコの世界無形文化遺産に登録されたことを契機に、食育の一環として、本県の食文化を構成する伝統的工芸品を学校給食に導入することを支援する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の小中学生				7,000人～8,000人程度			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	市町が伝統的工芸品を導入する際に2割市町に対して補助 また、産地を抱える鯖江市も1割補助				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 県内の小学校1年生7,215人に塗箸を配布し、また、学校給食用食器については飯椀、汁椀、トレーなど延べ440個が導入され、学校給食や家庭の場で使うことにより、伝統工芸と和食への理解を深めている。		漆器組合が新たに開発した低価格食器の導入を想定し、補助金額を見直し。 本県の誇る伝統工芸や和食文化に触れてもらうため、引き続き塗箸の配布と学校給食食器導入への補助を行う。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,138千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

伝統的工芸品越前筆筒支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[福井経済新戦略]												

[事業目的]

若手職人を中心としたタンス町通りのシンボルとなる厨子の製作を通じ、越前筆筒のルーツや技術を学ぶとともに、若手の育成および産地の活性化、知名度向上を図る。

[事業内容]

- 産地が取り組む下記の内容を支援する。

事業内容	平成27年	平成28年	平成29年
「国宝」橘夫人厨子複製	・ 設計のための資料収集（奈良六大寺大観 等）、調査	・ 組立、金具等製作（外注）等	・ 塗装、仕上げ、装飾加工等
	・ 現物調査（10/4 法隆寺）および設計等	・ 塗装、下地、仕上げ等に関する調査	・ 展示、発表
越前筆筒のルーツを探る	・ 歴史、文化の調査および資料保存等	・ PR誌の編集計画の策定等	・ PR誌の印刷および展示、広報
資料（史料）保存・編集	・ 資料の記録、編集等	・ PR展示方法の検討等	—

・ 役割分担 実行委員長：上坂哲夫 設計およびプロデューサー：坂田守正 事務局：小柳範和 法隆寺、博物館への依頼：越前市
また、実際の制作にあたっては各部分ごとに5名程度のチームを組んで制作にあたる。仏画等は県内事業者へ委託

[予算額の推移等] (単位：千円)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移					2,116	2,116		
2月現計予算額の推移				2,116				
決算額の推移								

[成果指標等の推移]

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標	新規に越前筆筒を製造する事業者数 (目標)			(2)	(2)	(2)		3年間で2社の新たな参画
	実績			0				
活動指標	制作の進行状況 (目標)			(設計)	(組立)	(仕上げ)		3年間で完成するための工程
	実績			設計完了				

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	越前指物組合
予算額	2,116				2,116	事業実施方法	補助
						補助率	1/2

事業評価

事業名	伝統的工芸品越前箆笥支援事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
平成25年12月に「越前箆笥」が国の伝統的工芸品の指定を受けたことを契機に、越前箆笥のシンボルとして橋夫人厨子の複製に取り組み、産地が一体となって販路拡大、後継者育成等の振興策を進めている。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
越前指物組合				約40名				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	越前市も同額補助している。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> 指物組合員等が橋夫人厨子（現物）を視察。（27年10月4日） 橋夫人厨子を法隆寺へ搬入する作業等を見学。 各種資料をもとに設計を完了。 原材料の購入および乾燥の完了。		28年度から組立開始 越前箆笥の歴史をまとめたパンフレットの編さんに向けて 資料の整理と内容の検討を行う。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金			
			[福井経済新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	■ その他			

[事業目的]
 本県には、国指定の伝統的工芸品のみならず県指定の郷土工芸品など歴史や風土の中で長年にわたり県民から親しまれ、県民の生活を支えてきた製品が多くあることから、伝統的工芸品の全国大会福井大会（昭和59年から毎年11月に開催地を変えて開催される全国規模での式典や催事）を開催し、福井の工芸品の魅力を広く国内外にPRする。

[事業内容] 記念式典・全国伝統工芸士大会等の既定催事と県独自企画催事の実施（開催日時：平成28年11月24日（木）～27日（日）、場所：サンドーム福井等）

区分	大会・催事名	24日 (木)	25日 (金)	26日 (土)	27日 (日)	第1四半期			第2四半期			第3四半期		
						福井県伝統的工芸品月間推進協議会開催			業務委託プロポーザル			適宜、運営委員会開催		
既定 催事	記念式典・全国伝統工芸士大会式典および懇親会（鯖江市文化センター・あわら温泉等） ＜国 4,000 千円・県 4,000 千円・伝統工芸士会 8,000 千円＞	○												
	全国大会開会式（サンドーム福井） ＜県 200 千円＞		○											
	伝統工芸ふれあい広場・全国くらしの工芸展（サンドーム福井） ＜伝産協会 31,800 千円＞		○	○	○									
	日本伝統工芸士作品展（サンドーム福井） ＜伝統工芸士会 3,000 千円＞		○	○	○									
独自 企画 催事	食と器の提案会-レセプションパーティー（越前市文化センター） 国指定伝統的工芸品・県郷土工芸品の展示・販売、シンポジウム（サンドーム福井） 工房ガイドツアー（各産地） ＜県 25,023 千円＞		○	○	○									

[予算額の推移等] （単位：千円）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移					15,643			
2月現計予算額の推移								
決算額の推移								

[成果指標等の推移]

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標 参加者数					(35,000)			近年の大会参加者（富山大会38,000人、佐賀大会31,000人）を指標
活動指標 開催数					(1)			単年のみの開催

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県伝統的工芸品月間推進協議会
予算額	15,643				15,643	事業実施方法	上記協議会で協議の上決定
						補助率	県1/2、市町1/2（負担金）

事業評価

事業名	伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>平成26年度より「越前ものづくりの里プロジェクト」において、産地の魅力づくりを推進しており、本県伝統工芸品の認知度向上を図るとともに、これを契機とした一層の産地振興につなげるため、本大会を開催する。 (※平成26年に鯖江市から大会誘致の申し入れがあり、経済産業省へ働きかけていたところ、平成28年11月の本県開催が決定した。)</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
伝統工芸品産業関連事業者				約1,600人				
他県の状況	各県の協議会予算 ※福井県は28,000千円となるよう市町と調整 平成27年度：富山県 (予算額 32,610千円、参加者数 38,000人) 平成26年度：佐賀県 (予算額 33,000千円、参加者数 31,000人) 平成25年度：和歌山県 (予算額 12,300千円、参加者数 15,000人)			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業補助金 (実績) 開催日時：平成7年11月16日(木)～19日(日) 参加者数：83,000人 予算額：25,640千円			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 越前ものづくりの里プロジェクト (役割分担) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業：大会の開催 越前ものづくりの里プロジェクト：産地の魅力づくりの推進			市町との連携状況	伝統的工芸品産業を所管する自治体である鯖江市、越前市、越前町、小浜市とともに福井県伝統的工芸品月間推進協議会を設置予定 (H28.4)			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

住宅への伝産品利用促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠 ビジョン		[元気な産業 政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
住宅の新築・リフォーム時に越前瓦や越前和紙を使用する場合に、導入経費の一部を助成し、低迷している福井固有の地場製品の需要の拡大を図る。また、越前瓦については、課題となっている軽量化に向けた研究開発を行う。												
[事業内容]												
<p>「越前瓦」・「越前和紙」の需要拡大支援</p> <p>①新築・リフォーム時の越前瓦・越前和紙の使用支援（15,000千円） 県産材活用課が実施している「県産材を活用したふくい住まい支援事業」の対象者が、 屋根材に越前瓦を、襖紙や壁紙に越前和紙を使用する場合、導入経費の一部を助成（上限各10万円） ※越前和紙導入支援追加に伴う検査委託業務費の追加（75千円）</p> <p>②上記支援制度の案内パンフレットの作成（227千円）</p> <p>③越前瓦の軽量化（695千円） 越前瓦の強みである耐凍害性と高強度を維持しつつ、課題である重量の低減化を図る技術の開発を行う。</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				9,477	8,727	15,997	15,302	15,302	越前和紙導入に対する助成制度を追加			
2月現計予算額の推移				9,477	8,727							
決算額の推移				6,102								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	導入された伝産品の売上 額（千円）			(30,000)	(30,000)	(45,000)	(45,000)	(45,000)	①瓦 4,000円/㎡×100㎡×75件≒30,000千円 ②和紙 2,530円/㎡×79㎡×75件≒15,000千円			
				29,264								
活動指標	補助件数			(75)	(75)	(150)	(150)	(150)	越前瓦（75件）、越前和紙（75件） 計150件			
				54								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	15,997				15,997	事業実施方法		①補助②③直営				
						補助率		越前瓦・越前和紙ともに1,000円/㎡（上限100千円）				

事業評価

事業名	住宅への伝産品利用促進事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>建築様式の洋風化や重い屋根瓦の建物は倒壊しやすいなどの風評などもあり、越前瓦および越前和紙が用いられる襖紙等の利用が減少している。越前瓦の出荷額は10年前の約4割、8億円程度に、越前和紙の生産額は10年前の約6割、30億円程度に低迷している。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県産材を活用した新築・リフォームに際し、越前瓦、越前和紙を導入した施主				150名				
他県の状況	住宅の屋根に瓦を使用する場合の助成制度は一部見られるが、住宅の壁紙等に和紙を使用する場合の助成制度なし。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県産材を活用したふくいの住まい支援事業 (役割分担) 県産材を活用した新築・リフォーム時に対し、その敷地面積に応じて補助金を支給。 さらに屋根財として越前瓦、和室などに越前和紙を使用する場合には、当事業において上乘せ補助を実施。			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<26年度> 越前瓦の導入支援は、新築物件に対する県産材助成の受付が10月末で終了したこともあり、目標件数の8割程度にとどまった。 <27年度> 1月末時点で前年度実績を上回るなど、堅調に推移している。 (参考：1月末時点 67件)		越前和紙導入に対する助成制度を追加			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

サンドーム福井ものづくりキャンパス整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸																																																
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫 □ 県単 ■ その他	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度																																															
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]																																																								
<p>[事業目的]</p> <p>開館20年を契機に、サンドーム福井をものづくり産業の振興や人材育成の拠点機能を持つ「ものづくりキャンパス」として整備する。企業の実践的な商品開発や伝統工芸品の販売力強化のための支援を行い、また、学生、DIY愛好家等の一般県民がものづくりに利用できる環境を整備することにより新たな利活用を図る。</p> <p>具体的には、商品デザインの指導等を行うデザインセンターを移転し、ものづくりや展示・販売に活用できるエリアの整備、併せて、著名なデザイナーに新しいデザインセンターの所長として就任してもらい、その指導・助言のもと実践的な講座等を開催することにより、県内デザイナー、ものづくり企業等のレベルアップを図る。</p>																																																											
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 新しい機能の追加〔運営主体：デザインセンター〕</p> <p>①新商品開発、販売・商品PR力の強化および人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸職人塾を拡張し、ものづくり企業関係者、職人、学生など幅広い層を対象にしたものづくりに役立つ講座・教室を開催 ・県内デザイナー、ものづくり企業向けの実践的な講座を開催 ・デザインセンターによる新商品開発、デザイン支援 ・ラボでの試作品製作。ものづくり企業から職人、学生まで利用可能 <p>②中長期的な人づくり、伝統工芸品等のPR強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内外でもものづくりの実習や体験ができるスペースを整備 ・デザインセンター監修による県産品展示 <p>(2) 既存機能との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントホール、小ホールと連動した県産品展示、商談会開催 ・イベントホールの広さを活かし、新開発した商品の試験実施 																																																											
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">7,723</td> <td></td> <td style="text-align: right;">400,940</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">7,723</td> <td style="text-align: right;">22,800</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">7,386</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移			7,723		400,940				2月現計予算額の推移			7,723	22,800					決算額の推移			7,386																
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																																			
当初予算額の推移			7,723		400,940																																																						
2月現計予算額の推移			7,723	22,800																																																							
決算額の推移			7,386																																																								
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>管理会議棟利用者 (目標)</td> <td style="text-align: right;">(93,000)</td> <td style="text-align: right;">(93,000)</td> <td style="text-align: right;">(93,000)</td> <td style="text-align: right;">(93,000)</td> <td style="text-align: right;">(98,000)</td> <td style="text-align: right;">(98,000)</td> <td style="text-align: right;">(98,000)</td> <td rowspan="2">現状の10%増 月平均800人増 5か月(11~3月)×800人=4,000人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td style="text-align: right;">93,000</td> <td style="text-align: right;">93,000</td> <td style="text-align: right;">95,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>デザイン相談の件数 (目標)</td> <td style="text-align: right;">(700)</td> <td style="text-align: right;">(700)</td> <td style="text-align: right;">(700)</td> <td style="text-align: right;">(700)</td> <td style="text-align: right;">(830)</td> <td style="text-align: right;">(830)</td> <td style="text-align: right;">(830)</td> <td rowspan="2">相談件数10%増 デザイン相談+ラボ利用</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td style="text-align: right;">758</td> <td style="text-align: right;">740</td> <td style="text-align: right;">744</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	管理会議棟利用者 (目標)	(93,000)	(93,000)	(93,000)	(93,000)	(98,000)	(98,000)	(98,000)	現状の10%増 月平均800人増 5か月(11~3月)×800人=4,000人		実績	93,000	93,000	95,000					活動指標	デザイン相談の件数 (目標)	(700)	(700)	(700)	(700)	(830)	(830)	(830)	相談件数10%増 デザイン相談+ラボ利用		実績	758	740	744				
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																																			
成果指標	管理会議棟利用者 (目標)	(93,000)	(93,000)	(93,000)	(93,000)	(98,000)	(98,000)	(98,000)	現状の10%増 月平均800人増 5か月(11~3月)×800人=4,000人																																																		
	実績	93,000	93,000	95,000																																																							
活動指標	デザイン相談の件数 (目標)	(700)	(700)	(700)	(700)	(830)	(830)	(830)	相談件数10%増 デザイン相談+ラボ利用																																																		
	実績	758	740	744																																																							
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">事業実施方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: right;">400,940</td> <td style="text-align: right;">274,029</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(諸収入) 55</td> <td style="text-align: right;">126,856</td> <td>福井県、越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会</td> <td>直営、上記委員会で協議の上決定</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>県1/2、市町1/2(負担金)</td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	事業実施方法	予算額	400,940	274,029		(諸収入) 55	126,856	福井県、越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会	直営、上記委員会で協議の上決定							補助率	県1/2、市町1/2(負担金)																							
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	事業実施方法																																																				
予算額	400,940	274,029		(諸収入) 55	126,856	福井県、越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会	直営、上記委員会で協議の上決定																																																				
						補助率	県1/2、市町1/2(負担金)																																																				

事業評価

事業名	サンatorium福井ものづくりキャンパス整備事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸		
[事業の必要性・要求の背景]									
<p>サンatorium福井は開館から20年が経過し、一部施設の老朽化が進んでいる。また、施設の設置目的であるデザイン、産業の振興を実現するため、デザイン振興、人材育成、販売促進の機能を充実させる。</p>									
[受益者] サンatorium福井利用者				[想定される受益者数] 約40～50万人/年					
他県の状況	—		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 越前ものづくりの里プロジェクト (役割分担) 県内デザイナー、ものづくり企業向けの実践的な講座を開催		市町との連携状況	越前ものづくりの里のメンバーである鯖江市、越前市、越前町と連携して、体験教室の運営、デザインセンターの活用を行う。					
[事業の評価]									
前年度の実績			実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<26年度> 基本設計を完了 <27年度> 実施設計を完了			工事を行う。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
						<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「実は福井」の技 普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 -	- 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>「実は福井」の技を活用し、県内の優れた技術を国内外でPRすることで、新規販路開拓の支援を行う。また、県内の高校生等に県内企業の実力・魅力について知ってもらい、地元企業に対する興味や親しみを持つとともに将来にわたって本県ものづくり産業に対する理解を深めてもらうため、「実は福井」の技（親・学生向け版）を配布する。</p>												
[事業内容]												
<p>①「実は福井」の技 による情報発信 マスコミ各社、全国の大学等に配布、県外大手ユーザー企業との商談会で冊子を活用したPRを実施する。</p> <p>②「実は福井」の技（親・学生向け版）の県内高校生への配布 [事業所管課：産業労働部労働政策課] ・内 容 県内の職業系高校および（卒業後に多くが県外の理工系大学・学部に進学する）普通科高校理系クラスに在籍する高校2年生全員に対して「『実は福井』の技」（親・学生向け版）を配布し、進路指導等の時間において県内企業の活躍や優れたものづくり技術を学習する機会を提供する。 ・配布部数 5,500部</p> <p>③「実は福井」の技（親・学生向け版）のUターン就職を推進する各種事業における活用 [事業所管課：総合政策部ふるさと県民局若者・定住支援課] ・内 容 県外学生のUターン就職に向けた各種事業（ふるさと企業魅力発見フェア、ふくいものづくり企業魅力再発見事業、保護者セミナー等）において、県内企業の実力を知ってもらうための資料として活用する。 ・配布部数 2,500部</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	2,172	5,522	7,148	5,151	4,814	6,517	4,814	実は福井の技 郵送経費の見直し				
2月現計予算額の推移	2,172	4,379	7,148	5,151								
決算額の推移	2,172	4,157	4,414									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「実は福井」の技 主要 (目標) 経済誌等への掲載回数	(200)	(194)	(238)	(238)	(238)	(238)	(238)	前3カ年の実績のうち、最も高い値			
	実績	194	238	204								
活動指標	進路指導等での「実は福井」の技 (目標) 活用回数	(81)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	前3カ年の実績のうち、最も高い値			
	実績	78	74	74								
活動指標	「実は福井」の技 本冊 (目標) 発行部数	(1,500)	(2,600)	(3,500)	(3,500)	(3,500)	(3,500)	(3,500)	配布予定数			
	実績	1,500	2,600	3,500	3,500							
活動指標	「実は福井」の技 高校 (目標) 生への配布部数	(5,700)	(6,000)	(5,600)	(5,600)	(5,600)	(5,600)	(5,600)	主に理系、職業系の県内高校2年生の生徒数			
	実績	5,770	6,000	5,600								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	4,814				4,814	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	「実は福井」の技 普及事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>①「実は福井」の技を活用し、新規販路開拓の支援を行うため、県内の優れた技術を国内外でPRする。</p> <p>②県内の高校生等に、冊子「実は福井」の技（親・学生向け版）を用いて県内企業の実力・魅力について知ってもらい、地元企業に対する興味や親しみを持つとともに将来にわたって本県ものづくり産業に対する理解を深めてもらい、県内企業への就職を促進する。</p> <p>③県内の理系・職業系高校2年生や合同企業説明会等に参加した保護者・大学生等に県内企業の実力・魅力について知ってもらうため、引き続き「『実は福井』の技」を配布し、本県ものづくり産業への理解を深めてもらう。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内企業、県内高校2年生等				「実は福井」の技 掲載企業 142社、 県内高校2年生 約7,000名			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい新技術展示商談会フォローアップ事業 (役割分担) 本事業では、「実は福井」の技の『親・学生向け版』を増刷し、上記の事業では、『通常版』および『外国語版（英語・中国語）』の増刷を行っていたが、このたび統合する。		市町との連携状況	—			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<26年度> 主要経済誌等への掲載回数は前年比減であるが微減であり、県内企業のPRの場を提供できたといえる。 県内の理系・職業系高校2年生等に配布し、進路指導や社会科等の授業で活用してもらうことで、県内の製造業の実力・魅力について理解を深めてもらうことに繋がっている。		「実は福井」の技 郵送経費の見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 5千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

台湾連携中国市場開拓技術商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
中国でのビジネスにおいて販売網や人的ネットワークを既に有している台湾企業との商談会を開催することにより、県内製造業の企業に対し、中国への販路開拓に向けたパートナー探しの支援を行う。												
[事業内容]												
台湾連携中国市場開拓技術商談会 県内製造業と台湾企業とのビジネスマッチング会の開催を支援する。 ・開催地：台湾 ・参加企業：県内製造業5～7社程度 ・補助率 1/2												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,963	2,710	2,530	655	585	527					
2月現計予算額の推移		2,963	2,710	2,530	655							
決算額の推移		2,963	2,710	2,396								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	台湾企業とのマッチング 件数	(目標) 11	(11) 15	(15) 12	(12) 7	(7)	(7)		前年度参加企業数×1件			
		実績										
活動指標	商談会参加企業数	(目標) 13	(13) 17	(17) 14	(14) 7	(7)	(7)		最適参加企業数(7社程度)			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井商工会議所					
予算額	585				585	事業実施方法	補助					
						補助率	1/2					

事業評価

事業名	台湾連携中国市場開拓技術商談会開催事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>中国でのビジネスにおいて販売網や人的ネットワークを既に有している台湾企業との商談会を開催することにより、県内製造業の企業に対し、中国への販路開拓に向けたパートナー探しの支援を行う必要がある。 これまで築き上げた台湾経済団体との協力関係を活かした商談会の開催を支援し、県内企業の海外市場への販路拡大を図る。</p>							
[受益者] 県内企業（製造業）				[想定される受益者数] 県内製造業5～7社			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 県が主体となり、県内企業と台湾企業とのビジネスマッチングの場を提供していたが、27年度からは事業主体を福井商工会議所とする補助事業とし、民間が主体となる経済交流の場という位置づけに変更した。 県内企業7社が参加し、二日間で85件の商談があった。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

医療産業創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
<p>繊維、眼鏡、機械など県内企業で培われた高度なものづくり技術を活用して、成長が見込まれる医療産業への参入を促進するため、医療現場サイドと県内企業との情報交流、販路開拓等を支援することにより、医療産業の創出ならびに早期事業化を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 参入支援</p> <p>① 医療産業への参入促進セミナー（計2回）（478千円） 医療機器の種類や分類、薬事法規制、製品化までの開発プロセス、医療機器製造業許可申請の方法など、医療機器分野参入に必要な事項を解説するセミナーを開催</p> <p>② 医療現場見学会（医療現場のニーズと県内企業のシーズの情報交流）（計1回）（228千円） 医療現場の課題・ニーズと県内企業の加工技術シーズの情報を共有する交流の場を福井大学医学部等の医療現場で開催</p> <p>③ 北陸ライフサイエンスクラスター形成事業（国庫対象外経費負担金等 2,000千円） 北陸の医療産業のシェア拡大を目指して、北陸3県の産学官金の各機関と地域社会が一体となって研究開発を進める I 医療コーディネータの配置（計1名） 医療現場、県内企業、医療機器メーカー3者の橋渡し役を担う医療コーディネータによる医療分野進出の相談体制を確立 II ライフサイエンス分野（がん治療等）の研究者の配置（計3名） 福井大学2名 若狭湾エネルギー研究センター1名</p> <p>(2) 販路開拓支援</p> <p>① 医療学会および医療機器展示会への出展補助（6,000千円） 【補助対象者】 県内の企業、企業グループ、団体 県内の企業 【補助率】 1/2 【補助限度額・件数】 出展補助 500千円/12件</p> <p>② 国内医療機器展示会への県内企業による共同出展支援（6,609千円） 国内最大規模の医療機器展示会「HOSPEX JAPAN」に福井県ブースを設け、県内企業の共同出展を支援する 福井県の医療分野における優れた製品・技術をまとめた冊子を作成・配布</p> <p>③ 大手医療機器メーカーとの個別マッチング会（計1回）（191千円） 大手医療機器メーカーのニーズ発表後、大手医療機器メーカーと県内企業が個別面談形式で商談</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		7,392	17,985	17,968	15,506	15,506	15,506					
2月現計予算額の推移		4,643	12,832	14,758				医療展示会誘致経費の見直し				
決算額の推移		2,745	10,719									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	医療学会への出展支援等による商品化数 (目標)			(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	各四半期毎に3件程度の商品化			
	実績			12								
活動指標	医療学会、医療機器展示会への出展支援件数 (目標)		(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	医療学会、医療機器展示会 計12件程度を想定			
	実績	8	6									
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	①県②県内企業等③（一財）北陸産業活性化センター					
予算額	15,506			(諸収入) 1,000	14,506	事業実施方法	①直営・委託②補助③負担金					
						補助率	②県1/2 企業1/2 ③各県200万円（定額）					

事業評価

事業名	医療産業創出支援事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>日本の医療機器市場は、平成16年以降、9年連続で2兆円を超える規模で推移しており、平成24年には約2.6兆円と過去最大となり、長期的に安定した市場となっている。</p> <p>国においても、「医療・介護・健康関連産業」については、「革新的医薬品や医療機器の研究開発に関する環境・体制の整備・強化」に取り組むこととしており、今後さらなる成長・発展が見込める分野の一つとして位置付けられている。</p> <p>福井は、もともと繊維産業やめがね産業が盛んであり、長年培ってきた繊維、眼鏡などの独自の技術を活かし、成長分野である「医療・介護・健康関連産業」に参入することは、ビジネスチャンスであることから、医療産業の参入を支援する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内企業				2,215事業所 (H26年度福井県工業統計 従業員4人以上の事業所)			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<26年度> 補助対象経費として「旅費」を対象としていなかったこと、医療展示会への出展については「国内展示会」を対象としていなかったことなどにより、予算上の想定件数12件には至らなかった。(H27当初予算要求時に改善済) 商品化数については、各種補助制度の活用などにより、チャレンジ目標12件を達成した。		医療展示会誘致経費の見直し 医療製品の製造・供給における安全性を担保し、国内市場内での信頼の獲得、さらには海外における新規採用につなげるため事業継続		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,519千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県民衛星プロジェクト支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H31 年度	H31 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
<p>県内外の企業、大学および行政が一体となり、宇宙産業に関する製品・技術開発を進め、もって本県ものづくり企業の宇宙関連産業への参入促進を図るとともに、得られた知見を原子力、自動車分野など多分野へ展開することにより、県内ものづくり企業製品の信頼力アップ、販路拡大・受注促進につなげる。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 宇宙産業の現状の課題把握・情報収集 研究会WGによる共同研究開発 (2,474千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふくい宇宙産業創出研究会(設置済)の運営 (計3回) <ul style="list-style-type: none"> ・各WGの全体会議 (①年間スケジュール説明、協議 ②中間報告 ③研究成果報告、次年度研究計画) ・外部有識者による基調講演 ○ 各研究WGの運営 (4WG×3回 = 計12回) <ul style="list-style-type: none"> ・技術的要素ごとに課題を抽出 ・研究テーマごとに4WGを立上げ、共同研究・環境試験等を実施 ・外部有識者(JAXA、超小型人工衛星製造・運営企業 など)による研究活動への助言、指導 <p>(2) 人工衛星製造拠点の整備 (9,553千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内企業による人工衛星製造に当たり、必要最低限の機器を導入 (場所:工業技術センター内 第2実証化研究室) <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンブース、コンパクトクレーン、デシケーターの設置 <p>(3) 人工衛星製造に当たってのスキルアップ (4,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民衛星プロジェクトの推進に当たり、県内ものづくり企業が人工衛星製造のノウハウを身に付けるため、県外企業へ自社職員を派遣する場合に、その派遣職員にかかる旅費の一部を支援 <ul style="list-style-type: none"> 【補助対象者】 製造業を主業とする県内の企業 【補助対象経費】 派遣に要する旅費 (交通費、宿泊費) 【補助率】 1/2 												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						16,027	2,500	2,500				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	宇宙産業へ参入する県内企業数 (目標) 実績					(40)	(45)	(50)	現状 宇宙産業に進出している企業等11団体 平成30年度 50団体の参画を目指す			
活動指標	研究会WGの開催回数 (目標) 実績					(12)	(12)	(12)	4WG×3回			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源			事業主体	①県 ②県内企業等			
予算額	16,027				16,027			事業実施方法	①直営・委託 ②補助			
								補助率	②県1/2 企業1/2			

事業評価

事業名	県民衛星プロジェクト支援事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>○国の動向 「内閣府 宇宙基本計画」(平成27年1月)</p> <p>【環境認識】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国が自前で宇宙開発利用を行うための宇宙産業基盤は揺らぎつつあり、その回復・強化が我が国にとって喫緊の課題 <p>【政策目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業・科学技術基盤の維持・強化のため、政府は計画に定める工程表に沿って着実に施策を実施 「我が国の宇宙機器産業の事業規模として10年間で官民合わせて 累計5兆円を目指して、その実現に向けた取組みを進める」 <p>○宇宙産業のトレンド</p> <ul style="list-style-type: none"> 1機数百億円の大規模衛星主流の時代から、1機数億円の大量生産型、小型衛星主流の時代へ アクセルスペース(日本) 50機打上計画 スペースX(米国) 4000機打上計画 ワンウェブ(米国) 600機打上計画 キャノン電子、三菱重工業が人工衛星製造分野への参入を発表 								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内企業等				50団体				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県民衛星プロジェクト支援事業(産業政策課) (役割分担) 地域産業・技術振興課担当事業において、県内ものづくり企業の宇宙関連産業への参入促進を図り、産業政策課担当事業において、県民衛星の打ち上げ、衛星データの利活用などを目指す。			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

炭素繊維を活用した橋梁補強技術開発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井経済新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		2 年		
[事業目的]												
<p>福井県において、東レなどの大手企業等と連携し、橋梁部材に炭素繊維複合材料（CFRP）を用いて橋梁全体を長寿命化、低コスト化する技術を新たに開発し、建築土木分野における炭素繊維複合材料の適用範囲を拡大することにより、県内企業の炭素繊維関連の売上増加を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>①桁端補強小型構造部材の開発 腐食した鋼橋桁のCFRP部材化による荷重分散を目指し、試設計・解析を行うとともに、補強効果およびメンテナンス軽減効果を検証 前年度の試作品結果を受けて、小型CFRP構造部材の仕様を決定し、加えて、劣化状況の自己判断を可能にするセンシングシステムの仕様も決定。耐久性データを中心にして、CFRP構造部材自身のデータと鋼材補強したデータの充実化を図り、材料定数の決定と補強設計案を構築</p> <p>②上部工軽量化に資する構造部材の開発 橋梁上部工のCFRP部材化による軽量化を目指し、試設計・解析を行うとともに、軽量化による耐震性向上や維持管理費の低減が可能かどうか検証 前年度の結果を受けて、将来のCFRP構造部材開発に向けた部材の要求仕様を提案</p> <p>○ 共同研究メンバーによるグループ会議および県内企業へのフィードバックを目的とした勉強会を開催 ※ 共同研究メンバー 福井県、東レ(株)、(株)IHI、名古屋大学、東京大学</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					45,000	56,000			前年度より作成する試作品の大型化を図ることや、実橋実証試験も、健全ではなく劣化した橋への施工となるため増額			
2月現計予算額の推移					45,000							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	炭素繊維による橋梁補強技術開発等の参画企業数	(目標)			(25)	(30)			前年度参画企業数+2(1割増)			
		実績			28							
活動指標	県内企業向け勉強会開催回数	(目標)			(4)	(4)			四半期に1回開催			
		実績			3							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	56,000				56,000	事業実施方法		委託				
						補助率						

事業評価

事業名	炭素繊維を活用した橋梁補強技術開発事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県内企業の炭素繊維関連の売上増加を図るため、福井県において、東レなどの大手企業等と連携し、橋梁部材に炭素繊維複合材料（CFRP）を用いて橋梁全体を長寿命化、低コスト化する技術を新たに開発し、建築土木分野における炭素繊維複合材料の適用範囲を拡大することが有効である。 自動車、航空機等に加えて、建築土木分野まで炭素繊維関連製品を増やすことで、県内企業の経営の安定化を図ることができる。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内研究会会員企業（製造業、施工業等）				28社				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> 7月、10月、3月に勉強会を開催し、3月には、健全な実橋を使った実証試験を実施した。（志津川橋）		補強が必要な実橋を対象に、実証試験を行う。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度	- 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
<p>[事業目的]</p> <p>本県のものづくり技術や付加価値の高い新商品開発力を県内外の企業に示し、新たな販路を開拓するため、北陸最大規模の展示商談会である「北陸技術交流テクノフェア」の開催を支援する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>北陸技術交流テクノフェア2016（主催：技術交流テクノフェア実行委員会／事務局：福井商工会議所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催時期 平成28年10月中旬（2日間） ○開催場所 福井県産業会館 ○主要内容 <ul style="list-style-type: none"> ・展示会：技術交流、研究開発、技術移転等に積極的な企業、研究機関、大学・高専、各種団体等が、それぞれが有する技術・製品等を出展〔約150社（約200小間）〕 ・技術プレゼンテーション：テーマごとに、出展者が保有する技術シーズや研究成果、最新の製品、事業化事例などを発表 ・技術相談・商談会：出展者の技術情報を事前にガイドブックにして取りまとめ、技術相談・商談会を実施 ・特別講演：国内大手製造企業のトップによる、企業が成長・発展するための技術開発の必要性や、産学官一体となった取組による技術革新の成功例等についての講演 ○総事業費 29,500千円 ○実行委員会の構成 福井市、北陸経済連合会、(一財)北陸産業活性化センター、福井県商工会議所連合会、福井商工会議所（事務局）、(公財)ふくい産業支援センター、福井県環境・エネルギー懇話会、北陸電力(株)、(株)福井銀行、(株)北陸銀行、(株)北國銀行、西日本電信電話(株)福井支店 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000					
2月現計予算額の推移	9,000	9,000	9,000	9,000								
決算額の推移	9,000	9,000	9,000									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	来場者数 (目標)	(18,752)	(17,621)	(20,233)	(20,233)	(20,233)	(20,233)	(20,233)	前3ヵ年の実績のうち、最も高い値			
	実績	17,008	20,233	18,950	15,883							
1社あたりの相談・商談件数平均	(目標)	(56.4)	(53.7)	(45.2)	(62.1)	(53.5)	(53.5)	(53.5)	前年度実績に対して10%増			
	実績	51.6	41.1	56.5	48.7							
活動指標	出展者数 (目標)	(160)	(178)	(162)	(176)	(192)	(192)	(192)	前年度出展者数に対して10%増			
実績	162	148	160	175								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		技術交流テクノフェア実行委員会				
予算額	9,000				9,000	事業実施方法		補助金				
						補助率		1/3				

事業評価

事業名	北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県のものづくり技術や付加価値の高い新商品開発力を県内外の企業に示し、新たな販路を開拓するため、北陸最大規模の展示商談会である「北陸技術交流テクノフェア」の開催を支援する必要がある。</p> <p>今後とも、次世代技術などニーズに合ったテーマで出展企業を募集することにより、県の施策との一体性を高めるとともに、来場者および相談・商談件数の増加に努め、より事業効果を高めていく。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内企業等				県内企業等出展者 160～180社			
他県の状況	<p>◆ 石川県 「MEX（メックス）金沢2015（正式名称：第53回機械工業見本市金沢）」 ※毎年開催 ・開催趣旨 金属工作・加工機械及びその関連製品並びに電機・電子関連機器等の流通促進と技術交流をはかり、産業と貿易の振興発展に寄与することを目的とする。 ・日 程 平成27年5月14日（木）～16日（土） 10時～17時 ・場 所 石川県産業展示館（3、4号館） ・出展者数 196社6団体 ・来場者数 56,186名 ※主催：（一社）石川県鉄工機電協会</p> <p>◆ 富山県 「富山県ものづくり総合見本市2015」 ※隔年開催 ・開催趣旨 工作・産業機械、電子・電機、IT、プラスチック、アルミ、繊維、医薬品、化学など広く国内外のものづくり技術や製品を展示し、経済交流の促進をはかるとともに、県民にもものづくり技術を紹介することを目的とする。 ・日 程 平成27年4月23日（木）～25日（土） 10時～17時 ・場 所 富山産業展示館（テクノホール）および富山市体育文化センター ・出展者数 388社（うち国内：226社、海外：162社） ・来場者数 16,419名 ※主催：「富山県ものづくり総合見本市2015実行委員会」</p>			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	—		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 来場者数は減少したものの、出展者数は増加しており、来場者の94%が来場して何らかの成果があったとアンケートで回答しているという結果から、補助事業として十分に成果を得ているといえる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H15 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度	- 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]								
[事業目的]											
公設試験研究機関相互の情報通信ネットワークである「公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク(公設試NW)」を活用した、効率的でレベルの高い試験や共同研究、情報の発信や共有等を行っていくため、情報ネットワークの運用および保守管理を行う。											
[事業内容]											
①公設試験研究機関情報ネットワークの運用 専用回線による各公設試験研究機関および学術情報ネットワーク(インターネット)への接続											
②公設試験研究機関情報ネットワークの保守・管理 ネットワークサーバ、端末機、各公設試験研究機関内LAN(有線・無線)、その他(プリンタ・他端末への接続)等の保守・管理											
[予算額の推移等] (単位: 千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		42,056	33,834	35,516	35,403	35,858	35,000	35,000	セキュリティの強化にかかる増		
2月現計予算額の推移		40,150	33,628	34,442	34,718						
決算額の推移		40,189	33,626	34,442							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	サーバーアクセス数 (目標)	(2,178,131)	(2,493,887)	(2,768,983)	(3,141,093)				ネットワークの利用の指標(過去3ヵ年実績の平均)		
	実績	2,672,334	3,073,116	3,677,830							
活動指標	重大なネットワークトラブル発生数 (目標)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	ネットワークの停止、ウィルスへの感染、情報漏えい等、業務に支障をきたす重大なトラブルが起こらないこと		
	実績	0	0	0							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	35,858	35,858				補助率		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>「福井県科学技術振興指針」（平成10年1月策定）および「福井県科学技術振興アクションプラン」（平成11年3月策定）において、公設試験研究機関相互の情報通信ネットワーク整備の必要性が掲げられており、平成11年度から「公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク整備事業」に着手し14年度に整備を完了した。このネットワークを活用した効率的でレベルの高い試験や共同研究、情報の発信や共有等を行っていくため、公設試験研究機関科学技術情報ネットワークの運用および保守管理を行う。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
公設試験研究機関において研究活動に従事する職員				209名			
他県の状況	富山県 技術データ共有システム 工業技術センターの3つの研究拠点を結ぶシステムを保有 石川県 工業試験場内のネットワーク 工業試験場～久谷焼センターを結ぶ回線	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	公設試NWは、研究データ・利用企業データ等を保護するために、独立したネットワークとして整備されており、市町とは連携していない。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 平成21年度リース機器および公設試ネットワーク用回線の更新を行った。 ネットワークシステムおよび機器共に、定期的な機器更新と適切な保守により、ネットワーク全体の停止や情報漏えい等の重大なトラブルは発生していない。		丹南地方において新たに研究拠点を設けるため、公設試ネットワーク利用拠点の増設を行う。これに伴い、回線サービス契約、接続機器賃貸借契約、システム保守範囲の変更を実施。 またセキュリティの強化のため、ファイアウォール更新およびメールサーバへの機能追加を行う。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域科学技術振興研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業 政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]		事業 区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度 H8 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度	- 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]								
[事業目的]											
本県で成長が期待される分野を中心に地域の科学技術振興に寄与する研究開発を、複数の試験研究機関等の連携により実施することで、地域の科学技術振興を図る。											
[事業内容]											
県内の各産業に成果を移転・普及できる調査研究、技術開発で、かつ各産業界や地域からのニーズがある研究テーマ、およびそれらの研究に使用される備品等の整備を行う。											
①新規研究テーマ 16テーマ（ヘリカルドリリング装置の高性能化に関する研究 など）											
②継続研究テーマ 30テーマ（炭素繊維複合材のVaRTM成形に最適なマトリックス樹脂設計に関する基礎研究 など）											
③備品整備および修繕 17件（落錘衝撃試験機 など）											
④ 保守・維持運営 2件											
⑤研究実施機関 工業技術センター、食品加工研究所、農業試験場、畜産試験場、水産試験場、総合グリーンセンター、建設技術研究センター、衛生環境研究センター（電子顕微鏡の保守）											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		256,259	193,595	337,721	371,634	379,314	370,000	370,000			
2月現計予算額の推移		244,793	199,550	344,703	372,720						
決算額の推移		243,475	195,705	338,843							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	技術移転数	(目標)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	各公設試において1件/年 技術移転とは研究成果を利用した地元企業による、実用化(商品化)件数、共同研究数、外部資金獲得数。		
		実績	10	26	10						
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(27)	(33)	(36)	(45)	(46)		各公設試験研究機関における他研究事業も考慮し、当初予算要求段階で申請があった研究テーマ数を記載。		
		実績	27	33	36	45					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	374,601	374,601				事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	地域科学技術振興研究事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本事業は、公設試験研究機関の中心的な研究開発事業であり、年間約40件程度の研究テーマが実施されている。また、研究に用いられる機器の整備や修繕を行うことにより高度な研究が可能となっている。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
公設試験研究成果移転が見込める企業・農家等				企業559社、農・林・畜産業者30,196戸、漁業者1,885名			
他県の状況	石川県 ・農試・畜試・林試が統合された農林総合研究センター内の事業では、一つの事業で複数の公設試(組織)に予算を分配する事業があるが、工業試験場と水産試験場のように公設試をまたいだ事業はない。 ・国の競争的資金では、一時的に本課が予算計上して公設試に分配する例がある。 富山県 ・一つの事業で複数の公設試に研究予算を分配している事業はない。 農林水産総合技術センターに属する機関の間では「特別重点化粋研究事業(県単)」を実施。 ・サポイン事業等、国の競争的資金の場合は、個別テーマで工業系と農水系の公設試が連携し、同一の予算から研究費が出ることもある。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	—	事業名			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 本事業により実施する研究は各試験研究機関の中心的な研究事業となっている。 研究テーマ数 45件 備品単独整備数 27件 施設整備 1件 保守1件				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県有知的財産管理活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 S44 年度 経過年数 48 年	事業終了 予定年度	— 年度	
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
県職員が発明した優れた知的財産権（特許等）を県有財産として継承、技術の流出を防止するとともに、県内企業等を実施許諾することにより、県内産業の活性化に資する。												
[事業内容]												
①国内特許出願 職務発明の承継および国内特許の出願												
②国際特許出願（PCT出願 特許協力条約：Patent Cooperation Treaty） 国際特許出願経費												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	9,124	7,560	8,123	7,592	12,326	12,326	12,326					
2月現計予算額の推移	12,460	8,663	8,123	10,746								
決算額の推移	10,964	8,101	6,826									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	実施許諾件数 (目標)	(29)	(27)	(31)	(32)	(32)	(32)	(32)	前3ヵ年の実績のうち、最も高い値			
	実績	25	31	32								
活動指標	特許出願件数 (目標)	(18)	(15)	(15)	(18)	(18)	(18)	(18)	前3ヵ年の実績のうち、最も高い値			
	実績	13	13	18								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県					
予算額	12,326			(財産収入) 4,784	7,542	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	県有知的財産管理活用事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県職員が発明した優れた知的財産権（特許等）を県有財産として承継し適切な権利保護を図るとともに、県内企業等へ実施許諾することにより技術移転を促進し、県内産業の活性化に資する。特に優れた特許については、海外での権利保護も図り、県内企業の海外展開も後押しする。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内企業				2,215事業所（H26年度福井県工業統計 従業員4人以上の事業所）				
他県の状況	石川県（平成25年度） 国内特許出願：6件、実用新案：1件 富山県（平成25年度） 国内特許出願：7件			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<26年度> 県有特許の実施許諾（32件）により県内企業への技術移転を進め県内産業の活性化を図っている。本県の開繊特許を用いた炭素繊維部材が航空機に採用されるなどの成果が挙げられている。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

海外知的財産サポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸																																										
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	— 年度																																									
		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金																																													
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他																																													
<p>[事業目的]</p> <p>主に企業内に知財部門を持たない県内企業に対して行う国際特許出願等への補助事業を支援することで、県内企業のアジア市場を中心とした海外市場進出を促進し、地域産業の活性化を図る。</p>																																																					
<p>[事業内容]</p> <p>国際特許等出願経費補助事業【特許庁：中小企業等外国出願支援事業】の実施に要する費用（審査会等事務的経費）に対する補助 (補助先) 公益財団法人ふくい産業支援センター (補助率) 1/2</p>																																																					
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">273</td> <td style="text-align: center;">271</td> <td style="text-align: center;">271</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">271</td> <td style="text-align: center;">271</td> <td style="text-align: center;">271</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td style="text-align: center;">130</td> <td style="text-align: center;">189</td> <td style="text-align: center;">217</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移	273	271	271	249	249	249	249		2月現計予算額の推移	271	271	271	249					決算額の推移	130	189	217										
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																													
当初予算額の推移	273	271	271	249	249	249	249																																														
2月現計予算額の推移	271	271	271	249																																																	
決算額の推移	130	189	217																																																		
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td>出願件数 (目標)</td> <td style="text-align: center;">(6)</td> <td style="text-align: center;">(6)</td> <td style="text-align: center;">(10)</td> <td style="text-align: center;">(11)</td> <td style="text-align: center;">(11)</td> <td style="text-align: center;">(11)</td> <td rowspan="2">前3ヵ年の実績のうち、最も高い値</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td>申請企業数 (目標)</td> <td style="text-align: center;">(6)</td> <td style="text-align: center;">(6)</td> <td style="text-align: center;">(8)</td> <td style="text-align: center;">(8)</td> <td style="text-align: center;">(8)</td> <td style="text-align: center;">(8)</td> <td rowspan="2">前3ヵ年の実績のうち、最も高い値</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	出願件数 (目標)	(6)	(6)	(10)	(11)	(11)	(11)	前3ヵ年の実績のうち、最も高い値	実績	5	10	11	8			活動指標	申請企業数 (目標)	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)	(8)	前3ヵ年の実績のうち、最も高い値	実績	5	8	8	7		
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																													
成果指標	出願件数 (目標)	(6)	(6)	(10)	(11)	(11)	(11)	前3ヵ年の実績のうち、最も高い値																																													
	実績	5	10	11	8																																																
活動指標	申請企業数 (目標)	(6)	(6)	(8)	(8)	(8)	(8)	前3ヵ年の実績のうち、最も高い値																																													
	実績	5	8	8	7																																																
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">(公財) ふくい産業支援センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">249</td> <td>事業実施方法</td> <td>補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td>1/2</td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	(公財) ふくい産業支援センター	予算額	249				249	事業実施方法	補助							補助率	1/2																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	(公財) ふくい産業支援センター																																														
予算額	249				249	事業実施方法	補助																																														
						補助率	1/2																																														

事業評価

事業名	海外知的財産サポート事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>外国での産業財産権取得の重要性を十分認識せずに、アジア市場をはじめとした海外市場に進出することで、本来獲得できたはずの対価や権利が得られないケースや不利な条件を飲むことになるケースが増加している。また、模倣品被害や特許権侵害への対応も必要となっていることから、外国での権利取得に対する支援を行う。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内企業				2,215事業所（H26年度福井県工業統計 従業員4人以上の事業所）				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> 申請企業7社に助成がなされ、8件の国際特許等が出願された。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

産学官金連携技術革新推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]			事業 区分	■ 国庫 ■ 県単 □ その他	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]								
[事業目的]											
県内製造業における研究成果の早期事業化を図るため、本県企業が県内外の大学、公設試験研究機関、金融機関等と連携して取り組む革新的な研究開発について支援する。											
[事業内容]											
<p>①産学官金連携技術革新推進事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者 県内企業または企業グループ ・補助対象事業 企業がオープンイノベーション推進機構で実施する研究開発、およびその販路開拓 ・補助率 2 / 3 以内 (補助限度額 10,000千円) ・補助対象経費 技術開発・試作品開発費および販路開拓費 <p>②技術開発・製品開発支援補助金成果展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県や国などから補助金を受けて事業を実施している県内企業の優れた技術や製品等の成果を発表することにより、各補助事業の意義や県内企業の取り組みを県民に広く周知する。 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					61,896	62,388	62,388		地方創生交付金基礎交付分としてH26年2月補正予算で計上しH27年分に繰り越し。 H27年9月補正予算にて人材データベース整備費を計上。		
2月現計予算額の推移					64,044						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	事業化数				(一)	(一)	(2)		2年以内の商品化・事業化率 1/3 (事業終了後2年目までに2件)		
		(目標)									
活動指標	支援チーム数				(6)	(6)	(6)		予算額60,000千円 補助限度額1件につき10,000千円 60,000/10,000=6件		
		(目標)			7						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		①県内企業または企業グループ②県			
予算額	62,388				62,388	事業実施方法		①補助②直営			
						補助率		2/3			

事業評価

事業名	産学官金連携技術革新推進事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県内の多くの中小企業は、人材や設備、資金などの開発基盤が脆弱であり、革新的な研究開発等が困難であることから、「ふくいオープンイノベーション推進機構」に参画する大学研究者や大企業、公設試、金融機関など産学官金が一体となって、組織的に企業の研究を応援し、福井発のイノベーションの推進を図る。これまで行われていた技術開発のための補助制度においては、技術開発後の事業化面への支援が十分でなく、補助事業終了後に事業化につながる割合が低かった。本補助制度においては、産学官の連携に、経営や企業会計の専門家である金融機関を加え、事業計画提出段階で事業化可能性について十分な目利きを行うことで、早期事業化を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内製造業およびその連携機関				6企業+1企業あたり産学官金の4機関の連携=30企業・機関				
他県の状況	<p>【石川県】 「新技術・新製品研究開発支援事業」((公財)石川県産業創出支援機構) 県内企業、又は県内企業と大学等・企業間からなる連携体(以下「連携体」)が実施する、新技術や新製品の研究開発及び実用化研究事業に対する補助 補助率2/3(50人以下の企業3/4)、上限20,000千円(最大2か年)</p> <p>【富山県】 「産学官連携推進事業」((公財)富山県新世紀産業機構) 富山県内の産学又は産学官グループに研究開発を委託することにより、富山県内における新商品・新事業の創出促進を図る 委託(10/10) 1課題あたり200万円以内</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名	新技術事業化スピードアップ補助金 (実績) 企業単独での技術開発を支援 H25~H27の3年間で33企業を支援			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名	市町との連携状況		—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> 産学官金が連携した7チームを支援。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

研究開発プロフェッショナル人材設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の企業]				□ 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
産・学・官・金が連携して県内企業を一貫支援する「ふくいオープンイノベーション推進機構」に配置した県外大手企業の要職を務めた「プロフェッショナル人材戦略マネージャー」とマネージャーをサポートする「サブマネージャー」等を活用し、本機構として推進する大型共同研究プロジェクトの調整や進捗管理を行い、商品開発を加速させる。											
[事業内容]											
(1) 活動内容											
① 県外大手企業等との橋渡し											
・ 県外大手企業ニーズに応じた開発計画の検討											
・ 県内企業が求めるプロフェッショナル人材の紹介											
② 新規大型プロジェクトの調整・管理											
【想定例】											
・ 炭素繊維複合材料技術（水素ガス貯蔵タンク、土木部材・補強技術）											
・ アグリビジネス関連技術（抑草用ロボット、アシストスーツ）											
・ 宇宙産業関連技術（人工衛星減速装置）											
(2) 設置場所 福井県工業技術センター											
(3) 実施主体 県											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						55,905			半年から一年分への期間増による		
2月現計予算額の推移					12,665						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	成約件数 (プロ人材採用数)	(目標)			(5)	(15)			県内企業とプロフェッショナル人材とのマッチング成立件数		
		実績									
活動指標	相談件数 (県内企業面談件数)	(目標)			(70)	(200)			継続的に拠点とのコンタクトをとる企業数		
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井県			
予算額	55,905	54,239		(諸収入) 1,666		事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	研究開発プロフェッショナル人材設置事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
産・学・官・金が連携して県内企業を一貫支援する「ふくいオープンイノベーション推進機構」に配置した「プロフェッショナル人材戦略マネージャー」等を活用し、本機構として推進する大型共同研究プロジェクトの調整や進捗管理を行い、商品開発を加速させる。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内企業				2,215事業所（H26年度福井県工業統計 従業員4人以上の事業所）				
他県の状況	平成27年10月5日に広島県がプロフェッショナル人材戦略拠点を開設（全国初） 27年度中に他44県において拠点開設			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
27年11月に「ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点」を開設。 プロフェッショナル人材戦略マネージャー1名、サブマネージャー2名、シニアアドバイザーを1名配置し、拠点体制を整えた。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域資源活用共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H25 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の産業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
[事業目的]											
企業が抱えている日常的に生じる技術課題から新産業創出のための新技術開発までの幅広い技術課題に対応し、県内企業の競争力のある技術開発を支援する。											
[事業内容]											
<p>①技術課題即応型共同研究 年8件程度（1研究あたり600千円程度） 企業が抱える日常的に生じる技術課題の解決や既存製品の高付加価値化において発生する技術的課題を企業および工業技術センターの持つノウハウを活用し、共同で試作・開発するための共同研究を実施。</p> <p>②成長分野支援型共同研究 年4件程度（1研究あたり1,200千円程度） 環境エネルギーや健康・医療分野などの成長分野を対象に、企業における高度な技術水準の技術課題に対応し、新たな技術分野への展開を目指す共同研究を実施。</p>											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移			13,122	11,810	10,907	9,998	9,293	8,658	研究予算の見直し		
2月現計予算額の推移			13,122	11,810	10,907						
決算額の推移			12,484	11,741							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	製品化・事業化件数	(目標)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	目標：3件/年（前々年度研究テーマ数の1/4程度）		
		実績	0	3							
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	目標：12件		
		実績	12	12	12						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県				
予算額	9,835				9,835	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	地域資源活用共同研究事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>県内企業の競争力のある技術開発を支援することを目的に、企業が抱える日常的に生じる技術課題から新産業創出のための新技術開発までの幅広い技術課題に対応するテーマ公募型の共同研究を実施する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
共同研究を行った企業				12企業			
他県の状況	石川県工業試験場（予算措置有） ・企業参画型研究開発 ・企業ニーズ即応型研究開発 富山県工業技術センター（予算措置有） ・若手研究者育成支援研究事業 ・ベンチャー創成等支援共同研究 ・企業・団体との共同研究 ・富山県立大学との共同研究	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 ものづくり支援共同研究事業 （実績） 製品化・事業化件数 平成22年度：2件 平成23年度：5件 平成24年度：12件			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 企業が抱える日常的に生じる技術課題から新産業創出のための新技術開発までの幅広い技術課題に対応する必要があるため、県内企業の競争力のある技術開発を支援することを目的としてテーマ公募型の共同研究を12件実施した。		研究予算の見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 812千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

伝統的工芸品新機能開発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の産業]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>これぞ「福井」という伝統の技から生み出される逸品を嗜好品ではなく工業的な分野に展開させるため、工業技術センターが和紙、漆器などの伝統産業の技術者等と協力し、新たな分野へ展開できる機能を持つ製品の技術開発を行う。</p>												
[事業内容]												
<p>①和紙「靱皮繊維を用いたインテリア和紙の高度化研究」 産地が優位性をもつ靱皮繊維和紙について、特性分析を行い他素材繊維との混抄技術を確立することで、インテリア和紙の開発を行う。</p> <p>②竹材「竹材を活用した居住空間調音技術の開発」 竹を加工し音響管の効果を持たせることにより、音場をコントロールする技術を確立することで、調音パネルを開発する。</p> <p>③漆器「漆の透明性向上に関する研究」 ウルシオールから着色原因物質の除去方法を確立し、様々な色が発色する透明性の高い漆を製作する。</p> <p>④和紙「高強度多層壁紙の開発」 原料の組み合わせや加工によって、高強度・低伸縮性を付加させた積層和紙の開発を行う。</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		6,582	5,924	5,087	4,659	4,190			研究予算の見直し			
2月現計予算額の推移		6,582	5,924	5,087	4,659							
決算額の推移		6,461	5,711	4,920								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	共同研究、技術指導 (目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)			技術指導3件 共同研究に発展2件 本事業は基礎研究の性格を持ち、研究の成果がそのまま製品化に至るものではない。本事業実施後、共同研究、技術指導を経て製品化に至るため共同研究、技術指導を成果指標とした。			
	実績	1	6	6								
活動指標	研究テーマ数 (目標)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)			和紙、漆器、越前焼、打刃物などの伝統工芸を対象とした研究			
	実績	4	4	3	4	4						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	4,052				4,052	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	伝統的工芸品新機能開発事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>伝統的工芸品の売上は、生活スタイルの変化、海外からの安価な輸入品の増大により、需要が低迷し生産額は減少傾向にある。これらの課題に対応をするために、新しい機能をもった製品を開発し、新規市場の開拓を促進する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
伝統工芸品産業関連事業者				約1,600人			
他県の状況	石川県 漆器 : 漆液の改質に関する研究、漆の難燃化に関する研究 漆の品質評価法に関する研究 九谷焼 : 石川県産原料を用いた伝統的釉薬の基礎的研究、 耐久性を改善した無鉛和絵具の実用化研究 岐阜県 和紙 : 美濃和紙原料の供給安定化に関する研究 美濃焼 : 3Dプリンターを用いた陶磁器素地成形技術の開発、 陶磁器原料の調査と代替原料の探索、その他8テーマ	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<H26年度> 技術相談、技術指導対応 372件 共同研究、技術指導 6件		研究予算の見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 313千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

戦略的基盤技術高度化研究開発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の産業]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
工業技術センターが、戦略的基盤技術高度化支援事業に参画し、共同研究を実施することにより、産学官による新技術・新製品開発を支援する。												
[事業内容]												
<p><プレス式水冷システムを用いた双晶組織形成制御による高音質なシンバル用高錫濃度ブロンズ合金の開発> ○銅に錫を一部添加した合金が現在製品化されており、錫濃度が高くなると音の複雑性、高音質を表現できることが分かっているが、その反面、硬くもろい組織が生成されるため、シンバル割れやゆがみが生じる問題がある。そこで本研究では、シンバル素材の熱処理加工工程を見直し、プレス式冷却システムを開発することにより、シンバル用高錫濃度ブロンズの安定性、耐久性の向上を図る。 ○工業技術センターの役割 開発した素材を材料組成特性、音響特性の両面より評価し、素材の質の向上へつなげる。</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,700	1,030	864	376	9,548	(-)	(-)	採択事業数、採択事業件数による			
2月現計予算額の推移		1,773	1,030	2,764	14,307							
決算額の推移		1,406	955	2,415								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	製品化・実用化件数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(-)	(-)	事業化1件/年 事業終了後も継続して研究を行っており、研究事業の多くは実用化まで時間を要する。			
		実績	0	1	0							
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(6)	(4)	(3)	(2)	(1)	(-)	(-)	採択および継続事業件数		
		実績	6	3	3	2						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	9,449			(諸収入) 9,449		事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	戦略的基盤技術高度化研究開発事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>経済産業省では、基盤技術を担う中小企業とそのユーザー企業、研究機関等からなる共同研究体において実施する革新的かつハイリスクな研究開発を支援するため、「戦略的基盤技術高度化支援事業」を実施しており、県工業技術センターも協力機関として研究の一部を受託実施することで共同研究体による優れた成果創出に資する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
共同研究者（企業、大学等）				共同研究者4機関			
他県の状況	石川県（予算措置有） ・走行機能付次世代型5軸制御ロボット加工機の開発 ・炭素繊維ドライファイバーチョップドテープによる高生産性・高機能性・高賦形性すべてを達成する革新的RTM成形技術の開発 富山県（予算措置有） ・世界初の脆弱化合物層フリー・発光分析フィードバック(ESF)プラズマ窒化による、航空機部品向け高品質・高能率・クリーン深窒化プロセスの開発	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	—	事業名 (役割分担)			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 世界最大出力レーザーによる次世代重電産業での超厚板溶接技術開発にて「加工レーザーヘッドの開発」を担当 「プレス式水冷システムを用いた双晶組織形成制御による高温質なシンバル用高錫濃度ブロンズ合金の開発」にて「ブロンズ組成と音響との相関解析・評価」を担当		「プレス式水冷システムを用いた双晶組織形成制御による高温質なシンバル用高錫濃度ブロンズ合金の開発」の「ブロンズ組成と音響との相関解析・評価」について、放射音音場解析装置を導入し、熱処理工程で変化するシンバル材料禁則素材組織と音質との関係性に関する研究を行う。 （「世界最大出力レーザーによる次世代重電産業での超厚板溶接技術開発」については、平成27年度で終了。）		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額

炭素繊維革新技术開発事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H34 年度	H34 年度
関連する県の計画等			政策 [革新と創造で伸びゆく福井の産業]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>福井県が有する開織技術および熱可塑性樹脂を母材とした世界最薄レベルの薄層プリプレグシートを製造するノウハウを活用し、国が実施するエネルギー使用合理化技術開発等（革新的構造材料等技術開発（「熱可塑性CFRPと金属材料の接合技術開発」及び「熱可塑性CFRPの開発及び構造設計・加工技術の開発」））で取り組む炭素繊維複合材料に関する多様な中間基材の試作や製造を行い、研究成果を県内企業へ移転することにより、本県企業の競争力の強化を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>< 事業全体 ></p> <p>○わが国が国際的優位性を持つ炭素繊維と自動車産業両者の競争力拡大ならびに関連製造産業の創出を目的として、超軽量量産自動車を実現するための熱可塑性CFRPに関する共通基盤技術（多様な中間基材、評価技術、構造設計技術、成形加工技術）を開発する。</p> <p>○工業技術センターの役割</p> <p>福井県が有する開織技術および熱可塑性樹脂を母材とした世界最薄レベルの薄層プリプレグシートを製造する設備とノウハウを活用し、リサイクル炭素繊維を用いた炭素繊維不織布の開発・大型プレス加工の中間機材としての熱可塑性プリプレグシートの開発といった本研究で取り組む炭素繊維複合材料に関する多様な中間基材の試作や製造を行う。</p>												
< 年度ごとの研究内容 >												
<p>平成25年度：炭素繊維不織布装置の導入、熱可塑性プリプレグシートの開発</p> <p>平成26年度：炭素繊維不織布の試作、薄層ランダム材の開発、熱可塑性プリプレグシートの物性評価</p> <p>平成27年度：炭素繊維不織布、薄層ランダム材の物性評価、自動車部材の試作品と同じ樹脂の組み合わせによる薄層プリプレグシートの試作</p> <p>平成28年度：炭素繊維不織布に繊維配向を与えた材料の開発、薄層ランダム材の成形性評価、自動車部材の試作品と同じ樹脂の組み合わせによる薄層プリプレグシートの供給</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		0	5,274	23,441	17,900	17,900	17,900	備品購入経費の見直し				
2月現計予算額の推移		24,959	26,911	23,441								
決算額の推移		24,813	26,470									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	実用化件数	(目標)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	実用化は研究終了時である平成34年度以降				
		実績	0	0	0							
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	経済産業省のプロジェクト研究であるため、担当するテーマが決まっている				
		実績	1	1	1							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	17,300			(諸収入) 17,300		事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	炭素繊維革新技术開発事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>経済産業省の委託事業で我が国が国際的優位性を持つ炭素繊維と自動車産業の両者の競争力拡大、ならびに関連製造産業の創出を目的として、超軽量量産自動車を実現するための熱可塑性CFRPに関する共通基盤技術（多様な中間基材、評価技術、構造設計技術、成形加工技術）を開発する。東京大学と名古屋大学の研究グループ（以下東大集中研、名大集中研という。）が受託し、福井県は両研究グループに参画する。その中で福井県は熱可塑性CFRPの中間基材の開発・供給、量産化技術の研究を行い、研究成果を県内企業へ移転することにより、本県企業の競争力の強化を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
炭素繊維複合材料関連県内企業				10社			
他県の状況	石川県（予算措置有） 石川県工業試験場も参画 「高速接合に適応した熱可塑性CFRPの開発」	前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)	
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 超軽量量産自動車向けの炭素繊維複合材料（炭素繊維不織布の開発、熱可塑性プリプレグシートの供給）に関する研究を実施。		備品購入経費の見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 5,184千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

戦略的イノベーション創造プログラム

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の産業]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
			[福井経済新戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		3 年		
[事業目的]												
<p>航空機用等の樹脂・FRP 部材の実用化を加速するために、新規樹脂開発、高成形サイクル・低価格成形手法の開発、大型FRP 製造技術およびその関連基盤技術（材料設計・生産／加工技術、品質保証・最先端計測技術、マルチスケール計算科学等を駆使した高生産性・高信頼性の革新的構造材としての樹脂およびFRP/PMC 材料等）の構築を目指す。併せて、FRP の付加価値を高めるための高分子材料や複合材料周辺技術開発も行う本研究の成果を県内企業へ広めることにより、本県企業の競争力の強化を図る。</p>												
[事業内容]												
<p><事業全体></p> <p>○航空機用等の樹脂・FRP 部材の実用化を加速するために、新規樹脂開発、高成形サイクル・低価格成形手法の開発、大型FRP 製造技術およびその関連基盤技術（材料設計・生産／加工技術、品質保証・最先端計測技術、マルチスケール計算科学等を駆使した高生産性・高信頼性の革新的構造材としての樹脂およびFRP/PMC）の構築およびFRP の付加価値を高めるための高分子材料や複合材料周辺技術開発を行う。</p> <p>○工業技術センターの役割</p> <p>福井県が有する開繊技術および熱可塑性樹脂を母材とした世界最薄レベルの薄層プリプレグシートを製造する設備とノウハウを活用し、航空機用エンジン部材用として使用可能な耐熱熱可塑性樹脂と炭素繊維を一体化させたプリプレグの製造技術を開発する。</p>												
<p><年度ごとの研究内容></p> <p>平成26年度：耐熱熱可塑性樹脂をフィルム化する製造装置の設計および導入</p> <p>平成27年度：フィルム製造装置を使用した厚さが均一なフィルム作成技術（厚さ：20μm未満）の確立</p> <p>平成28年度：フィルムとプリプレグの一体化技術の確立</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					8,900	8,721	8,721	8,721				
2月現計予算額の推移				8,900	8,900							
決算額の推移				8,847								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	航空機等への実用化	(目標)		(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	年度終了以降に実用化目標			
	実績			0	0							
活動指標	研究テーマ数	(目標)		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	事業開始時に研究テーマが決まっている			
	実績			1	1							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	8,421			(諸収入) 8,421		事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	戦略的イノベーション創造プログラム	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>現在、航空宇宙分野への適用を目指した炭素繊維強化プラスチック複合材の開発が欧米や中国等アジア諸国でも活発化している背景から、わが国の航空機用革新高分子樹脂基複合材料製造技術の国際競争力を飛躍的に向上させるべく、高生産性革新高分子樹脂基複合材料の製造技術の確立が必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
炭素繊維複合材料関連県内企業				10社			
他県の状況	石川県（予算措置有） 植物由来の炭素繊維複合材料の開発に石川県工業試験場が参画	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 炭素繊維複合材料を航空機エンジン部材に適用した耐熱樹脂プリプレグシートの開発および製造方法の低コスト化に関する研究を行った。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸																																					
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H28 年度																																				
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸びゆく福井の企業]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数			2 年																																			
			[福井経済新戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他																																								
<p>[事業目的]</p> <p>新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が助成する本事業は、中堅・中小・ベンチャー企業及び組合等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転を受けてビジネスにつなげることや、中小企業等及び組合等が保有する技術を橋渡し研究機関の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、自社の技術力向上や生産方法等の革新等を実用することを促進することを目的としている。</p> <p>県工業技術センターは橋渡し研究機関として、申請者の研究の一部を受託実施することで共同研究体による優れた成果創出に貢献し、本県企業の競争力の強化を図る。</p>																																																
<p>[事業内容]</p> <p>①インテリジェントカーシート用センサテキスタイルの開発（平成27年9月～平成29年2月、セーレン株の受託研究）</p> <p>○テキスタイルへの印刷技術を応用して、薄層、軽量で柔軟性に優れたテキスタイル素材に伸縮性と多軸変形に対応可能な導電性パターンを印刷し、その上に電子部品を実装した「柔らかい電子基板」の生産技術を確立し、運転者の動作や同乗者の着座状態をモニタリング可能なインテリジェントカーシートを開発する。</p> <p>○工業技術センターの役割 センサテキスタイルの物性評価、耐久性評価</p> <p>②熱可塑性樹脂が含浸した広幅薄層シート材製造方法の開発（平成27年9月～平成29年2月、サカイオーベックス株の受託研究）</p> <p>○工業技術センターの炭素繊維開繊技術を改良して、繊維間に隙間のできない開繊技術を開発し、熱可塑性樹脂が完全含浸した一方向炭素繊維シートCFRTPプリプレグの製造技術を開発する。</p> <p>○工業技術センターの役割 繊維間に隙間のできない開繊技術の開発</p>																																																
<p>[予算額の推移等] （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2,152</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2,448</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移					2,152				2月現計予算額の推移				2,448					決算額の推移								
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																								
当初予算額の推移					2,152																																											
2月現計予算額の推移				2,448																																												
決算額の推移																																																
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>事業化・製品化数</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(—)</td> <td style="text-align: center;">(—)</td> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td>研究が28年度まで実施するため、事業化・製品化は29年度以降</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>研究テーマ数</td> <td>(目標)</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td style="text-align: center;">(2)</td> <td></td> <td>2テーマともH27～H28年度で実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	事業化・製品化数	(目標)			(—)	(—)	(2)	研究が28年度まで実施するため、事業化・製品化は29年度以降	活動指標	研究テーマ数	(目標)			(2)	(2)		2テーマともH27～H28年度で実施			実績			2			
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																								
成果指標	事業化・製品化数	(目標)			(—)	(—)	(2)	研究が28年度まで実施するため、事業化・製品化は29年度以降																																								
活動指標	研究テーマ数	(目標)			(2)	(2)		2テーマともH27～H28年度で実施																																								
		実績			2																																											
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 5%;">県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">1,956</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(諸収入) 1,956</td> <td></td> <td>事業実施方法</td> <td style="text-align: center;">直営</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県	予算額	1,956			(諸収入) 1,956		事業実施方法	直営							補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県																																									
予算額	1,956			(諸収入) 1,956		事業実施方法	直営																																									
						補助率																																										

事業評価

事業名	中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>中堅・中小企業は、大企業が参入しないようなニッチマーケットなどにおいてもリスクを取りつつ、機動的に事業化を図るなど、イノベーション創出への貢献が期待されている。しかし、特定の優れた技術を有していても、事業化を目指すためには不十分であるため、優れた基盤技術等を有する機関がその技術の中堅・中小企業に橋渡しすることにより、実用化を促進することが重要となる。よって、本事業により中堅・中小企業と共同研究を実施し、イノベーションを推進する。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
NEDOから競争的資金の採択決定を受けた県内企業				2社				
他県の状況	<H27年度実施件数> 石川 2件（うち1件は県予算措置） ・谷田合金(株)（橋渡し研究機関：石川県工業試験場、産総研） ・サンコロナ小田(株)（橋渡し研究機関：金沢工業大学） 富山 なし	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	—					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> NEDOからの採択を受け、研究開発に着手した。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

オリンピック・国体関連用品販路獲得事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン〔元気な産業〕 政策〔革新と創造で伸び行く福井の産業〕			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			〔福井経済新戦略〕								
[事業目的]											
東京オリンピックや国体関連での採用を通じて、伝統工芸品など本県の魅力ある製品や技術を広く国内外に発信し、県産品の販路拡大・知名度向上につなげる。											
[事業内容]											
<p>①伝統工芸品などの県産品の売込み 大会運営や式典、レセプション等での採用を目指し、産地企業や団体等と合同で五輪組織委員会へ売込み ・産地視察の機会を設け、県内伝統工芸品等への理解を促進 ・先方のニーズを把握し、適した製品を提案</p> <p>②スポーツ用品分野への進出拡大 進出意欲のある県内企業に対し、スポーツ用品メーカーによる最新ニーズ勉強会や意見交換・提案会を開催</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				2,436	2,436	1,253			会場使用料の見直し		
2月現計予算額の推移				1,803	2,436						
決算額の推移				194							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	提案品・試作件数	(目標)		(10)	(30)	(30)			国体ノベルティ等の提案：10件 オリンピック向け商品提案：20件		
		実績		30	60						
活動指標	意見交換・提案会の開催、県産品等の提案件数	(目標)		(2)	(2)	(2)			工事受注企業への提案：1件 スポンサー企業への提案：1件		
		実績		2							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	1,253				1,253	事業実施方法		直営			
						補助率					

事業評価

事業名	オリンピック・国体関連用品販路獲得事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>経済波及効果が約3兆円と試算されている、東京オリンピック、同パラリンピック関連で採用されることはPR効果が大きく、本県が誇る伝統的工芸品等の県産品やものづくり技術の国内外の発信にまたとない機会であり、2年前に開催される福井国体と合わせ、県産品や技術を売り込んでいくことが必要である。</p> <p>県内企業による個別の売込みより、ものづくり企業を中心としたネットワークを構築し、大会主催者側のニーズの情報提供や新商品開発の支援を行うほか、参加企業の商品情報を把握し、組織委員会等関係者への商品提案の実施、産地視察などを通じ、より効果的な販路開拓に結び付けていく。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
国体・オリンピック用品販路拡大ネットワーク参加企業				508社			
他県の状況	・石川県：新分野参入・展開支援事業（予算額4,000千円） 実施主体 (株)繊維リソースいしかわ（石川県繊維協会） 事業内容 オリンピック需要を取り込むためのウェア用素材等の開発支援	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 国体商品開発コンペティション事業 （役割分担） 福井国体を契機として、オリンピック等将来にわたって販売増が見込まれる県内企業の商品開発を関連事業にて支援する	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 東京オリンピック向けに提案する関連商品を募集したところ、51点の提案があり、舛添東京都知事ほかに対する売り込みを行った。		会場使用料の見直し 情報提供、組織委員会等関係者への商品提案やスポーツメーカーへの製品提案会の実施を通じ、県産品の販路拡大を図る。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 52千円
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

国体商品開発コンペティション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [革新と創造で伸び行く福井の産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
県内企業から提案のあった新たな商品開発や既存商品の改良のうち、2018年に開催される福井国体を契機として販路拡大効果が見込まれるもの、将来にわたって販売増が見込まれる商品開発を総合的に支援し、県内産業の活性化を図る												
[事業内容]												
(1) 商品企画トータルサポート事業												
①事業概要：デザイナー等の専門家による商品開発のブラッシュアップ、マーケティング手法に対するアドバイスを実施												
②事業内容：インダストリアルデザイナー等の専門家の派遣 利用負担金：専門家謝金（県外100千円、県内40千円）の1/2												
③事業主体：（公益）ふくい産業支援センター												
(2) 新商品開発助成事業												
①事業概要：企業から提案のあった新商品開発の企画について商品化の可能性を選考し、試作開発経費を補助する												
②事業内容：開発経費の補助（補助率1/2以内 上限100万円）												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					6,279	6,279	6,279					
2月現計予算額の推移					6,279							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新商品開発件数 (目標) 実績				(3)	(3)	(3)		支援件数5件のうち、約半数を新商品化			
活動指標	支援件数 (目標) 実績				(5) 6	(5)	(5)		100万円×5企業			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	(公益)ふくい産業支援センター・県					
予算額	6,279				6,279	事業実施方法	補助					
						補助率	1/2					

事業評価

事業名	国体商品開発コンペティション事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>経済波及効果が約3兆円と試算されている、東京オリンピック、同パラリンピック関連で採用されることはPR効果が大きく、本県が誇る伝統的工芸品等の県産品やものづくり技術の国内外の発信にまたとない機会であり、2年前に開催される福井国体と合わせ、県産品や技術を売り込んでいくことが必要である。</p> <p>本事業は、オリンピックや国体に向けた新商品開発を支援する制度であるが、従来型の商品開発支援にとどまらず、専門家による商品企画のブラッシュアップから試作品開発までを総合的に支援するなど、採用実現を図るためにより効果的な支援制度となっている。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
福井国体を契機に商品開発に取り組む企業				5社				
他県の状況	・和歌山県（2015国体開催県）：地域資源を活用した商品に大会キャラクター（きいちゃん）デザイン使用料の免除			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 オリンピック・国体用品販路獲得事業 （役割分担） 関連事業で、組織委員会等関係者やスポーツ用品メーカー等に、開発した商品の提案を行う			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> 材料の生産から縫製まですべてを県内企業が行った国体スタッフ用ポロシャツ、ジャンパー2件の開発を支援 国体やオリンピックなどのスポーツイベント向けの商品開発4件を支援（うち1件は試作開発前の専門家派遣による企画ブラッシュアップまでを支援）					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

繊維産業新規市場開拓支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H22 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[革新と創造で伸び行く福井の産業]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[福井経済新戦略]												
[事業目的]												
<p>本県の基幹産業である繊維産業では、主に生地を製造する企業が多く、長らく委託加工体制が続いたため、販売力不足や消費者への訴求力不足などの課題を抱えている。これらの課題解決に向け、産地の各業種団体が実施する「福井産」繊維製品の開発、高付加価値商品の発信によるブランド力向上など、新規市場の獲得に向けた取組みを支援し、産地の売上拡大を目指す。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 本件繊維産地を構成する各業種の課題や強み、産地で果たすべき役割について情報を共有し、マクロな視点で産地振興を図るため、繊維協会および会員団体の事務局と県による「産地団体連絡会議（仮称）」を設置</p> <p>(2) 「産地発信力強化計画」を作成した連絡会議参加団体が実施する、下記のいずれかに該当する事業を県が支援</p> <p>① 企画、織り編み、染色加工を福井産地に対応した「MADE IN FUKUI」の最終商品開発およびPR事業</p> <p>② 福井県産テキスタイルの発信に向けた大規模展示会への出展等の販路開拓事業</p> <p>③ 福井の繊維の価値訴求に向けたイメージモデルやデザインの検討、産業財産権取得等のブランディング事業</p> <p style="margin-left: 20px;">補助対象者 (一社) 福井県繊維協会の会員団体</p> <p style="margin-left: 20px;">補助率 等 補助率 1/2 [重点支援型] 直近3年間を目途に新たに取組む事業 限度額 2,000千円</p> <p style="margin-left: 20px;">[継続支援型] 既存の事業基盤を活かして取組む事業 限度額 1,500千円</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		8,000	7,200	6,400	6,400	8,500	8,500	8,500				
2月現計予算額の推移		8,000	7,200	6,400	4,673							
決算額の推移		7,185	6,647	4,842								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	事業への参加企業	(目標)				(25)	(25)	(25)	組合事業への参加企業数 (H28年度から設定) 5社/件×5件=25社			
		実績										
活動指標	支援件数	(目標)	(4)	(4)	(3)	(3)	(5)	(5)	(5)	重点型2件 (2,000千円×2件) + 継続型3件 (1,500千円×3件) の合計5件 (8,500千円) を想定		
		実績	4	4	3	3						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県内繊維関連団体				
予算額	8,500				8,500	事業実施方法		補助				
						補助率		1/2				

事業評価

事業名	繊維産業新規市場開拓支援事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県繊維産業は、産業のグローバル化に伴う生産拠点の海外移転や安価な海外製品との競合等により受注量が減少。近年は国内衣料市場の低迷、円安による輸入原材料費の高騰など、産地を取り巻く環境は厳しさを増しているが、本県製造業における繊維産業の割合を見ると、事業所数、従業者数で依然1位を占めており、基幹産業として本県経済をけん引している。</p> <p>(一社)福井県繊維協会会員の各業種団体では、会員企業単体では困難な事業(展示会出展等)を組合単位で実施することで各業種毎に産地の振興を図っており、産地全体を網羅的に支援するためには、各団体の独自事業に対して支援を行うことが効果的。ただし、業種毎にミクロな視点で行う事業ではなく、産地全体の将来を見据えたマクロな視点での事業を促進するため、県、繊維協会、業種団体間の情報共有の場を設けることが必要。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内繊維関連団体				5団体			
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸産地では、富山県は産地規模の縮小、生産量の低下により産地を形成することが困難になっており、繊維産業に特化した支援は現在行っていない。 ・石川県では、福井県と異なり業界を取りまとめる繊維協会(繊維リソースいしかわ)の事業実施能力が高く、事業支援は繊維協会に一括して行っており、各産地組合への支援行っていない。 ・その他、近畿、関西圏では、京都府や伝統的な繊維産業が集積している市町村等が伝統工芸的に繊維産業を支援(丹後ちりめん、西陣織など)しているが、その他では繊維団体向けに特化した支援は行っていない。 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 繊維卸商協会、ニット工業組合、燃糸工業組合の3団体への支援を実施。 産地企業の海外展示会(イタリア)、国内(東京)展示会への出展支援やスポーツメーカーとのマッチング等、販路開拓活動が積極的に行われ、年度内に成約につながる案件も見られる等、本県繊維産業の活性化につながっている。		<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年から各年度3~4団体の組合事業を支援。 ・これまでは各業種団体がそれぞれの視点の下で事業を実施していたが、今後は業界団体間で情報共有の場を設け、産地が一体となって取組む新規市場獲得に向けた事業(福井産繊維製品の開発、大規模展示会への出展、ブランディング)を支援し、産地全体の売上拡大につなげる。 		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくい繊維業種連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業 政策 [革新と創造で伸び行く福井の産業]]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]									
[事業目的]												
製造から卸まで分業体制でテキスタイルを生産、販売する本県繊維産地において、国内外の新たな需要を獲得するため、企業が業種横断的に連携して実施する販路開拓事業を支援することにより、産地内のサプライチェーンの強化を図る。												
[事業内容]												
県内の糸加工、織り編み、染色加工、卸など、各工程を担う企業が業種横断的に連携して行う販路開拓事業を支援する												
①国内販路開拓事業への支援 アパレルや大手商社など、消費者に近い企業とのマッチングによる国内販路開拓事業（企業の産地招聘、合同展示会出展等）												
②海外販路開拓事業への支援 欧米や中国沿岸部等の高級市場をターゲットにした海外販路開拓事業（共同での海外展示会出展や独自展示会の開催）												
③共同開発・販路開拓に向けたコーディネーターの設置 ①、②の実施に伴い必要とするコーディネーター設置に対する支援												
補助対象者 県内の糸加工、テキスタイル製造、染色加工、卸から各1社以上、合計20社以上からなるグループまたはそれらの企業による団体												
補助額等 補助率1/2 限度額3,300千円（ただし国内は800千円、海外は2,000千円、コーディネーター設置は500千円を限度）												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					3,500	3,300	3,100		国内販路開拓事業補助金の見直し			
2月現計予算額の推移					3,500							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	成約見込みの商談件数 (目標) 実績				(10)	(10)	(10)		展示会等による販路開拓を想定し、成約を前提とした商談について国内5件、海外5件の計10件を想定			
活動指標	連携体への支援件数 (目標) 実績				(2) 2	(2)	(2)		国内販路開拓1件、海外販路開拓1件の計2件を想定			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県内繊維関連団体				
予算額	3,300				3,300	事業実施方法		補助				
						補助率		1/2				

事業評価

事業名	ふくい繊維業種連携事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>本県繊維企業（糸加工、織り編み、染色等）は、従来合繊メーカーからの委託加工が主流であり、商社の指示を受けて生地を生産するに留まっていたため、商品の販売ルートや納品先等の情報は共有されず、分業上の連携のみの関係でしかなかった。</p> <p>近年、製造拠点の海外移転や海外製品との競合などにより、従来型の委託加工の受注が大幅に減少しており、産地機能を維持するためには、産地企業が主体となった商品企画、販路開拓が必要不可欠である。こうした中、従来の業種の壁を超えて横断的に連携し、企業共同の企画開発、販路開拓に取組む動きが産地内で見られ始めており、県としてこうした動きを支援することで、企業連携による新たな販売体制確立を図り、産地の発展を目指す。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内繊維関連企業による業種横断グループ				2グループ				
他県の状況	<p>・国内で糸加工、テキスタイル製造、染色加工、卸の各業種が産地を構成する規模で存続しているのは福井産地しかなく、業種を越えた連携による自主企画、販売体制を確立することは産地特有の課題となっている。そのため、当支援事業は、本県繊維産業の課題解決に向けた他県に無い事業である。</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	—					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度> （一社）福井県繊維協会が実施する国内販路開拓事業（業種横断若手の会「ITOMO」と大手商社とのマッチングによる展示会開催等）および海外販路開拓事業（中国・上海での独自展示会開催）を支援。		国内販路開拓事業補助金の見直し			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 200千円
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

北陸繊維産地地域連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [革新と創造で伸び行く福井の産業]			事業 区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			[福井経済新戦略]								
[事業目的]											
国内最大の合繊維産地である北陸において、固有の技術やノウハウを有する福井県および石川県の繊維企業が県域を超えた連携の下で行う新素材等の開発や、販路開拓に係る事業を両県共通で支援し、産地の自立化を加速させることを目的とする。											
[事業内容]											
<p>①企業連携体の新商品開発・販路開拓支援 [内 容] 福井・石川の県域を越えた企業連携体が互いの強みを共有して行う新商品開発・販路開拓事業を支援 [対 象 者] 福井または石川に主たる事業所を有する繊維産業を営む者のうち、原則中小企業で構成された連携体（各県1者、合計3者以上） [補助額等] 補助率2/3 限度額10,000千円（下限1,000千円） ※財源は福井、石川で各1/2（限度額5,000千円）ずつ負担</p> <p>②北陸産テキスタイルの販売力強化に向けた両県産地合同展示会の開催 [内 容] 福井・石川両県繊維企業の販売力強化に向けた、両県企業による連携開発素材等を訴求する産地合同展示会を開催</p> <p>実施主体 公益財団法人 ふくい産業支援センター ※①は間接補助事業 予算額 18,000千円（内訳：企業連携体支援16,000千円（うち1,000千円は事務費）、展示会事業費2,000千円）※石川県も同額</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					16,000	18,000					
2月現計予算額の推移					18,500						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	連携体による新製品試作開発点数 (目標) 実績				(150)	(150)			企業連携体1グループあたり50点の試作開発を想定し、3件支援で50点×3件=150点の開発支援を目標に設定		
活動指標	企業連携体への支援件数 (目標) 実績				(3)	(3)			企業連携体支援補助金の予算 30,000千円（両県合計）補助限度額10,000千円×3件の支援を想定		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	(公財)ふくい産業支援センター				
予算額	18,000	18,000				事業実施方法	補助				
						補助率	定額				

事業評価

事業名	北陸繊維産地地域連携事業	部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	龍田 光幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>過去、北陸3県繊維産業クラスター事業において北陸産地が一体となり、研究開発や人材育成等を支援してきた結果、県域を越えた企業連携によるものづくりの気運が高まった。</p> <p>中でも福井県、石川県では、両県で国内合繊維物シェアの過半数を占めるなど得意としている商品が類似していることに加え、国が整備したビッグデータ「地域経済分析システム（RESAS）」においても両県繊維企業間の活発な取引関係が初めて裏付けされたことを受け、両県企業が県域を越えた連携のもとで実施する独自の商品展開を支援するワンストップの支援制度を両県一体となって設け、積極的な企業活動を促進し、産地の自立化を目指す。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
福井、石川両県の繊維関連企業				企業連携体への支援による受益者数 9社			
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・石川県と共同で創設した広域連携による支援事業であり、全国的に初の試みである（石川県も同額要求）。 ・富山県については、産地規模を鑑みて繊維産業単独の支援は設けない方針。 	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	—				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度> 企業連携体への支援4件に加え、産地の販売力強化に係る事業の検討に向けた他産地の販売力強化にかかる先事例（ブランディング等）の調査を実施。		28年度は前年度同様の企業支援に加え、連携開発した素材を福井・石川両県で訴求する産地合同展示会を開催予定。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	